

シラバスを参照したい科目をクリックしてください。

戻る

タイトル	開講所 属	時間割コード	授業科目名			主担 当教員	対象年次	学期	曜日・ 校時	開講期 間
2014年 度シラ バス (教養 教育科 目)	教養教育-教 養教育フ ランス語	20140590029001	●フランス語 I (P1・P2_F1~F3_K1・K2・K3)	和	E	大橋 絵理	1年,2年,3年,4年	前期	水 1	~
2014年 度シラ バス (教養 教育科 目)	教養教育-教 養教育フ ランス語	20140590029002	●フランス語 I (E1~E6)	和	E	大橋 絵理	1年,2年,3年,4年	前期	水 2	~
2014年 度シラ バス (教養 教育科 目)	教養教育-教 養教育フ ランス語	20140590029003	●フランス語 I (L1~L6_D1・D2)	和	E	大橋 絵理	1年,2年,3年,4年	前期	水 3	~
2014年 度シラ バス (教養 教育科 目)	教養教育-教 養教育フ ランス語	20140590029004	●フランス語 I (M4~M6_T1~T5)	和	E	橋本 千鶴子	1年,2年,3年,4年	前期	金 3	~
2014年 度シラ バス (教養 教育科 目)	教養教育-教 養教育フ ランス語	20140590029005	●フランス語 I (T6~T10_M1~M3)	和	E	橋本 千鶴子	1年,2年,3年,4年	前期	金 4	~
2014年 度シラ バス (教養 教育科 目)	教養教育-教 養教育フ ランス語	20140590029006	●フランス語 I (G1~G3)	和	E	大橋 絵理	1年,2年,3年,4年	後期	火 3	~
2014年 度シラ バス (教養 教育科 目)	教養教育-教 養教育フ ランス語	20140590031001	●フランス語 II (G1~G3)	和	E	大橋 絵理	1年,2年,3年,4年	後期	水 4	~
2014年 度シラ バス (教養 教育科 目)	教養教育-教 養教育フ ラン	20140590031002	●フランス語 II (P1・P2_F1~F3_K1・K2)	和	E	富田 高嗣	1年,2年,3年,4年	後期	水 1	~

シラバス一覧

教育科目)	ス語									
2014年度シラバス (教養教育科目)	教養教育-教養教育フランス語	20140590031003	•フランス語Ⅱ(E1~E6)	和	E	大橋絵理	1年,2年,3年,4年	後期	水2	~
2014年度シラバス (教養教育科目)	教養教育-教養教育フランス語	20140590031004	•フランス語Ⅱ(L1~L6_D1・D2)	和	E	大橋絵理	1年,2年,3年,4年	後期	水3	~
2014年度シラバス (教養教育科目)	教養教育-教養教育フランス語	20140590031005	•フランス語Ⅱ(M4~M6_T1~T5)	和	E	橋本千鶴子	1年,2年,3年,4年	後期	金3	~
2014年度シラバス (教養教育科目)	教養教育-教養教育フランス語	20140590031006	•フランス語Ⅱ(T6~T10_M1~M3_K3)	和	E	橋本千鶴子	1年,2年,3年,4年	後期	金4	~
2014年度シラバス (教養教育科目)	教養教育-教養教育フランス語	20140590033001	•フランス語Ⅲ(2T1~2T10)	和	E	大橋絵理	2年,3年,4年	前期	火1	~
2014年度シラバス (教養教育科目)	教養教育-教養教育フランス語	20140590033002	•フランス語Ⅲ(2M1~2M3_2D1・2D2_2K1~4)	和	E	大橋絵理	2年,3年,4年	前期	火2	~
2014年度シラバス (教養教育科目)	教養教育-教養教育フランス語	20140590033003	•フランス語Ⅲ(2L1~2L3_2P1・2P2_2F1~2F3)	和	E	橋本千鶴子	2年,3年,4年	前期	木1	~
2014年度シラバス (教養教育科目)	教養教育-教養教育フランス語	20140590033004	•フランス語Ⅲ(2E1~2E8)	和	E	橋本千鶴子	2年,3年,4年	前期	木2	~
2014年度シラバス (教養教育科目)	教養教育-教養教育フランス語	20140590035001	•フランス語Ⅳ(2T1~2T10)	和	E	富田高嗣	2年,3年,4年	後期	火1	~
2014年度シラバス (教養教育科目)	教養教育-教養教育	20140590035002	•フランス語Ⅳ(2M1~2M3、2D1・2D2_2K1~2K4)	和	E	大橋絵	2年,3年,4年	後期	火2	~

教育科目)	フランス語					理				
2014年度シラバス (教養教育科目)	教養教育-教養教育 フランス語	20140590035003	•フランス語 IV(2L1~2L3_2P1・2P2_2F1~2F3)	和	E	橋本千鶴子	2年,3年,4年	後期	木1	~
2014年度シラバス (教養教育科目)	教養教育-教養教育 フランス語	20140590035004	•フランス語IV(2E1~2E8)	和	E	橋本千鶴子	2年,3年,4年	後期	木2	~



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 フランス語**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水 1
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590029001	科目番号	05900290
授業科目名	●フランス語 I (P1・P2_F1～F3_K1・K2・K3)		
編集担当教員	大橋 絵理		
授業担当教員名(科目責任者)	大橋 絵理		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	大橋 絵理		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 初習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養C棟]C-36(call2)		
対象学生 (クラス等)	P1・2, F1~3, K1~2		
担当教員Eメールアドレス	eohashi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	環境科学部棟 1階(123-2)		
担当教員TEL	095-819-2086		
担当教員オフィスアワー	火曜日 12:00-12:50 水曜日 12:00-12:50 木曜日 10:30-12:00		
授業の概要及び位置づけ	<p>教科書は<Moi, je>を使います。この教科書は、どうすればフランス語でコミュニケーションが上手に取れるようになるかを考えて作られています。フランスで日常よく使われる会話を楽しく学んでいきましょう。また、パリの観光地、ブティック、美術館、カフェ、レストランなどの、美しいだけでなく、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスのニュースや映画を通してフランスと日本の文化の違いも考え、客観的な物の見方も養います。</p> <p>フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ、旅行、語学研修、ホームステイに行った時、日常生活に必要な基礎的な会話を、無理なく学び、フランスの音楽や映画、ニュース等文化的・社会的な側面にも触れることをねらいとします。</p>		
授業到達目標	<p>(1) CALL教室を使用して、基本的に教科書に沿って進みます。</p> <p>(2) 文法や語彙だけではなく、オラルを重視し、ペアになったりグループになったりしながら、質問及びクラスメートに自分の言いたい事を伝える会話の練習を積極的にします。</p> <p>(3) 映像や音楽、インターネットなども利用して、フランス語の生きた使い方や文化を学習します。</p> <p>(4) ディクテ（書き取り）や、教室内でチャットをしたりして、「書く力」をつけ、バランスよくフランス語を学びます。</p>		
授業方法（学習指導法）	<p>(1) 単語のつづりや文章を正しく発音できるようにし、数字も覚えます。</p> <p>(2) 冠詞や疑問文、否定文などのフランス語の文法の構造を理解します。</p> <p>(3) 「～である」や「持っている」等の基本的な動詞の活用を覚えてます。</p> <p>(4) 挨拶や自己紹介、また相手に質問したり、他の人達について説明をできるようにします。</p>		

旅行や日常会話のフランス語を楽しく学び、フランス語学習を通じて新しい文化や生活習慣、考え方にふれます。またフランス人の目を通して日本の文化を見直します。

回	内容
1	「発音してみよう」(1) 1) アルファベ 2) フランス語の発音規則を学ぼう(1) 3) 相手の呼び方、tu とvous って何?
2	「挨拶してみよう」(2) 1) あいさつの表現 2) フランス語の発音の規則を学ぼう(2) 3) フランスの地図(主要都市と周りの国々)を知ろう
3	「自己紹介をしよう」(1) 1) 「です」を学ぶ 2) 名前はと言うの? 3) 国籍はと言うの?
4	「自己紹介をしよう」(2) 1) 「です」活用テスト 2) 否定形 3) 男性形と女性形 4) ペアレッスン
5	「自己紹介をしよう」(3) 1) 「私も」「私も…ない」 2) 学年と学部を言ってみよう 3) ペアレッスン
6	「自己紹介をしよう」(4) 1) 聴き取り練習 2) 作文・会話練習 3) 練習問題に取り組む
7	「どこに住んでるの?」(1) 1) 「住んでいる」を学ぶ 2) 規則動詞の活用のしかた 3) 否定形を言ってみよう
8	「どこに住んでるの?」(2) 1) 「住んでいる」活用テスト 2) 場所の表し方(…に、の近くに、から遠くに) 3) ペアレッスン
9	「どこに住んでるの?」(3) 1) 出身地について話そう 2) ペアレッスン
10	「どこに住んでるの?」(4) 1) 聴き取り練習 2) 作文・会話練習 3) 練習問題に取り組む
11	「交通手段は何?」(1) 1) 「来る」を学ぶ 2) 疑問詞を学ぶ 3) 疑問文の語順を知ろう
12	「交通手段は何?」(2) 1) 「来る」活用テスト 2) 疑問文を作ってみよう 3) 疑問文を用いて尋ねる・答える
13	「交通手段は何?」(3) 1) どうやって来るの? 2) いろいろな移動手段を知ろう 3) 接続詞「そして」と「でも」 4) ペアレッスン
	「交通手段は何?」(4)

授業内容

	14	1) 聴き取り練習 2) 作文・会話練習 3) 練習問題に取り組む
	15	前期の復習
	16	「7月30日」：統一試験
キーワード	フランス語 I	
教科書・教材・参考書	教科書：「モワ、ジュ コミュニケーション」 (アルマ出版) 参考書：仏和辞典 (「デイリーコンサイス仏和・和仏辞典を薦めます。生協にあります) または仏和・和仏辞典を搭載した電子辞書	
成績評価の方法・基準等	定期試験 50%、小テスト 15% や課題 15%、授業態度 10%、Fr@ncego (自己学習) 10% を総合的に判断する	
受講要件 (履修条件)		
備考 (URL)		
学生へのメッセージ	(先輩のメッセージ) 「大学の授業の中で一番フランス語の授業が好きでした！授業を受ける前は、フランス語は難しいと聞いていたし、実際勉強は必要だけれど、すごく楽しかったです！フランスがとても好きになりました！」ここまでは思えない人もいるでしょうが、楽しく学べて絶対会話ができるようになる授業を心がけています。外国語学習のコツは少しずつでもなるべく頻繁にその言語に触れることです。	



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 フランス語**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590029002	科目番号	05900290
授業科目名	●フランス語Ⅰ(E1～E6)		
編集担当教員	大橋 絵理		
授業担当教員名(科目責任者)	大橋 絵理		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	大橋 絵理		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 初習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養C棟]C-36(call2)		
対象学生（クラス等）	E1～6		
担当教員Eメールアドレス	eohashi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	環境科学部棟1階(123-2)		
担当教員TEL	095-819-2086		
担当教員オフィスアワー	火曜日 12:00-12:50 水曜日 12:00-12:50 木曜日 10:30-12:00		
授業の概要及び位置づけ	<p>教科書は<Moi, je>を使います。この教科書は、どうすればフランス語でコミュニケーションが上手に取れるようになるかを考えて作られています。フランスで日常よく使われる会話を楽しく学んでいきましょう。また、パリの観光地、ブティック、美術館、カフェ、レストランなどの、美しいだけでなく、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスのニュースや映画を通してフランスと日本の文化の違いも考え、客観的な物の見方も養います。</p> <p>フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ、旅行、語学研修、ホームステイに行った時、日常生活に必要な基礎的な会話を、無理なく学び、フランスの音楽や映画、ニュース等文化的・社会的な側面にも触れることをねらいとします。</p>		
授業到達目標	<p>(1) CALL教室を使用して、基本的に教科書に沿って進みます。</p> <p>(2) 文法や語彙だけではなく、オラルを重視し、ペアになったりグループになったりしながら、質問及びクラスメートに自分の言いたい事を伝える会話の練習を積極的にします。</p> <p>(3) 映像や音楽、インターネットなども利用して、フランス語の生きた使い方や文化を学習します。</p> <p>(4) ディクテ（書き取り）や、教室内でチャットをしたりして、「書く力」をつけ、バランスよくフランス語を学びます。</p>		
授業方法（学習指導法）	<p>(1) 単語のつづりや文章を正しく発音できるようにし、数字も覚えます。</p> <p>(2) 冠詞や疑問文、否定文などのフランス語の文法の構造を理解します。</p> <p>(3) 「～である」や「持っている」等の基本的な動詞の活用を覚えてます。</p> <p>(4) 挨拶や自己紹介、また相手に質問したり、他の人達について説明をできるようにします。</p>		

	<p>旅行や日常会話のフランス語を楽しく学び、フランス語学習を通じて新しい文化や生活習慣、考え方にふれます。またフランス人の目を通して日本の文化を見直します。</p>																												
授業内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="512 181 571 230">回</th> <th data-bbox="571 181 1544 230">内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="512 230 571 376">1</td> <td data-bbox="571 230 1544 376"> 「発音してみよう」(1) 1) アルファベ 2) フランス語の発音規則を学ぼう(1) 3) 相手の呼び方、tu とvous って何? </td> </tr> <tr> <td data-bbox="512 376 571 521">2</td> <td data-bbox="571 376 1544 521"> 「挨拶してみよう」(2) 1) あいさつの表現 2) フランス語の発音の規則を学ぼう(2) 3) フランスの地図(主要都市と周りの国々)を知ろう </td> </tr> <tr> <td data-bbox="512 521 571 667">3</td> <td data-bbox="571 521 1544 667"> 「自己紹介をしよう」(1) 1) 「です」を学ぶ 2) 名前はと言うの? 3) 国籍はと言うの? </td> </tr> <tr> <td data-bbox="512 667 571 835">4</td> <td data-bbox="571 667 1544 835"> 「自己紹介をしよう」(2) 1) 「です」活用テスト 2) 否定形 3) 男性形と女性形 4) ペアレッスン </td> </tr> <tr> <td data-bbox="512 835 571 981">5</td> <td data-bbox="571 835 1544 981"> 「自己紹介をしよう」(3) 1) 「私も」「私も…ない」 2) 学年と学部を言ってみよう 3) ペアレッスン </td> </tr> <tr> <td data-bbox="512 981 571 1126">6</td> <td data-bbox="571 981 1544 1126"> 「自己紹介をしよう」(4) 1) 聴き取り練習 2) 作文・会話練習 3) 練習問題に取り組む </td> </tr> <tr> <td data-bbox="512 1126 571 1272">7</td> <td data-bbox="571 1126 1544 1272"> 「どこに住んでるの?」(1) 1) 「住んでいる」を学ぶ 2) 規則動詞の活用のしかた 3) 否定形を言ってみよう </td> </tr> <tr> <td data-bbox="512 1272 571 1417">8</td> <td data-bbox="571 1272 1544 1417"> 「どこに住んでるの?」(2) 1) 「住んでいる」活用テスト 2) 場所の表し方(…に、の近くに、から遠くに) 3) ペアレッスン </td> </tr> <tr> <td data-bbox="512 1417 571 1529">9</td> <td data-bbox="571 1417 1544 1529"> 「どこに住んでるの?」(3) 1) 出身地について話そう 2) ペアレッスン </td> </tr> <tr> <td data-bbox="512 1529 571 1675">10</td> <td data-bbox="571 1529 1544 1675"> 「どこに住んでるの?」(4) 1) 聴き取り練習 2) 作文・会話練習 3) 練習問題に取り組む </td> </tr> <tr> <td data-bbox="512 1675 571 1821">11</td> <td data-bbox="571 1675 1544 1821"> 「交通手段は何?」(1) 1) 「来る」を学ぶ 2) 疑問詞を学ぶ 3) 疑問文の語順を知ろう </td> </tr> <tr> <td data-bbox="512 1821 571 1966">12</td> <td data-bbox="571 1821 1544 1966"> 「交通手段は何?」(2) 1) 「来る」活用テスト 2) 疑問文を作ってみよう 3) 疑問文を用いて尋ねる・答える </td> </tr> <tr> <td data-bbox="512 1966 571 2134">13</td> <td data-bbox="571 1966 1544 2134"> 「交通手段は何?」(3) 1) どうやって来るの? 2) いろいろな移動手段を知ろう 3) 接続詞「そして」と「でも」 4) ペアレッスン </td> </tr> </tbody> </table>	回	内容	1	「発音してみよう」(1) 1) アルファベ 2) フランス語の発音規則を学ぼう(1) 3) 相手の呼び方、tu とvous って何?	2	「挨拶してみよう」(2) 1) あいさつの表現 2) フランス語の発音の規則を学ぼう(2) 3) フランスの地図(主要都市と周りの国々)を知ろう	3	「自己紹介をしよう」(1) 1) 「です」を学ぶ 2) 名前はと言うの? 3) 国籍はと言うの?	4	「自己紹介をしよう」(2) 1) 「です」活用テスト 2) 否定形 3) 男性形と女性形 4) ペアレッスン	5	「自己紹介をしよう」(3) 1) 「私も」「私も…ない」 2) 学年と学部を言ってみよう 3) ペアレッスン	6	「自己紹介をしよう」(4) 1) 聴き取り練習 2) 作文・会話練習 3) 練習問題に取り組む	7	「どこに住んでるの?」(1) 1) 「住んでいる」を学ぶ 2) 規則動詞の活用のしかた 3) 否定形を言ってみよう	8	「どこに住んでるの?」(2) 1) 「住んでいる」活用テスト 2) 場所の表し方(…に、の近くに、から遠くに) 3) ペアレッスン	9	「どこに住んでるの?」(3) 1) 出身地について話そう 2) ペアレッスン	10	「どこに住んでるの?」(4) 1) 聴き取り練習 2) 作文・会話練習 3) 練習問題に取り組む	11	「交通手段は何?」(1) 1) 「来る」を学ぶ 2) 疑問詞を学ぶ 3) 疑問文の語順を知ろう	12	「交通手段は何?」(2) 1) 「来る」活用テスト 2) 疑問文を作ってみよう 3) 疑問文を用いて尋ねる・答える	13	「交通手段は何?」(3) 1) どうやって来るの? 2) いろいろな移動手段を知ろう 3) 接続詞「そして」と「でも」 4) ペアレッスン
回	内容																												
1	「発音してみよう」(1) 1) アルファベ 2) フランス語の発音規則を学ぼう(1) 3) 相手の呼び方、tu とvous って何?																												
2	「挨拶してみよう」(2) 1) あいさつの表現 2) フランス語の発音の規則を学ぼう(2) 3) フランスの地図(主要都市と周りの国々)を知ろう																												
3	「自己紹介をしよう」(1) 1) 「です」を学ぶ 2) 名前はと言うの? 3) 国籍はと言うの?																												
4	「自己紹介をしよう」(2) 1) 「です」活用テスト 2) 否定形 3) 男性形と女性形 4) ペアレッスン																												
5	「自己紹介をしよう」(3) 1) 「私も」「私も…ない」 2) 学年と学部を言ってみよう 3) ペアレッスン																												
6	「自己紹介をしよう」(4) 1) 聴き取り練習 2) 作文・会話練習 3) 練習問題に取り組む																												
7	「どこに住んでるの?」(1) 1) 「住んでいる」を学ぶ 2) 規則動詞の活用のしかた 3) 否定形を言ってみよう																												
8	「どこに住んでるの?」(2) 1) 「住んでいる」活用テスト 2) 場所の表し方(…に、の近くに、から遠くに) 3) ペアレッスン																												
9	「どこに住んでるの?」(3) 1) 出身地について話そう 2) ペアレッスン																												
10	「どこに住んでるの?」(4) 1) 聴き取り練習 2) 作文・会話練習 3) 練習問題に取り組む																												
11	「交通手段は何?」(1) 1) 「来る」を学ぶ 2) 疑問詞を学ぶ 3) 疑問文の語順を知ろう																												
12	「交通手段は何?」(2) 1) 「来る」活用テスト 2) 疑問文を作ってみよう 3) 疑問文を用いて尋ねる・答える																												
13	「交通手段は何?」(3) 1) どうやって来るの? 2) いろいろな移動手段を知ろう 3) 接続詞「そして」と「でも」 4) ペアレッスン																												

	<p>「交通手段は何？」（４）</p> <p>14 1) 聴き取り練習 2) 作文・会話練習 3) 練習問題に取り組む</p> <p>15 前期の復習</p> <p>16 「7月30日」：統一試験</p>
キーワード	フランス語Ⅰ
教科書・教材・参考書	教科書：「モワ、ジュ コミュニケーション」（アルマ出版） 参考書：仏和辞典（「デイリーコンサイス仏和・和仏辞典を薦めます。生協にあります）または仏和・和仏辞典を搭載した電子辞書
成績評価の方法・基準等	定期試験50%、小テスト15%や課題15%、授業態度10%、Fr@ncego（自己学習）10%を総合的に判断する
受講要件（履修条件）	
備考（URL）	
学生へのメッセージ	<p>(先輩のメッセージ)</p> <p>「大学の授業の中で一番フランス語の授業が好きでした！授業を受ける前は、フランス語は難しいと聞いていたし、実際勉強は必要だけれど、すごく楽しかったです！フランスがとても好きになりました！」ここまでは思えない人もいるでしょうが、楽しく学べて絶対会話ができるようになる授業を心がけています。外国語学習のコツは少しずつでもなるべく頻繁にその言語に触れることです。</p>



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 フランス語**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590029003	科目番号	05900290
授業科目名	●フランス語Ⅰ(L1～L6_D1・D2)		
編集担当教員	大橋 絵理		
授業担当教員名(科目責任者)	大橋 絵理		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	大橋 絵理		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 初習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養C棟]C-36(call2)		
対象学生（クラス等）	L1～6、D1・2		
担当教員Eメールアドレス	eohashi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	環境科学部棟1階(123-2)		
担当教員TEL	095-819-2086		
担当教員オフィスアワー	火曜日 12:00-12:50 水曜日 12:00-12:50 木曜日 10:30-12:00		
授業の概要及び位置づけ	<p>教科書は<Moi, je>を使います。この教科書は、どうすればフランス語でコミュニケーションが上手に取れるようになるかを考えて作られています。フランスで日常よく使われる会話を楽しく学んでいきましょう。また、パリの観光地、ブティック、美術館、カフェ、レストランなどの、美しいだけでなく、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスのニュースや映画を通してフランスと日本の文化の違いも考え、客観的な物の見方も養います。</p> <p>フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ、旅行、語学研修、ホームステイに行った時、日常生活に必要な基礎的な会話を、無理なく学び、フランスの音楽や映画、ニュース等文化的・社会的な側面にも触れることをねらいとします。</p>		
授業到達目標	<p>(1) CALL教室を使用して、基本的に教科書に沿って進みます。</p> <p>(2) 文法や語彙だけではなく、オラルを重視し、ペアになったりグループになったりしながら、質問及びクラスメートに自分の言いたい事を伝える会話の練習を積極的にします。</p> <p>(3) 映像や音楽、インターネットなども利用して、フランス語の生きた使い方や文化を学習します。</p> <p>(4) ディクテ（書き取り）や、教室内でチャットをしたりして、「書く力」をつけ、バランスよくフランス語を学びます。</p>		
授業方法（学習指導法）	<p>(1) 単語のつづりや文章を正しく発音できるようにし、数字も覚えます。</p> <p>(2) 冠詞や疑問文、否定文などのフランス語の文法の構造を理解します。</p> <p>(3) 「～である」や「持っている」等の基本的な動詞の活用を覚えてます。</p> <p>(4) 挨拶や自己紹介、また相手に質問したり、他の人達について説明をできるようにします。</p>		
	旅行や日常会話のフランス語を楽しく学び、フランス語学習を通じて新しい文化や生活習慣、		

考え方にふれます。またフランス人の目を通して日本の文化を見直します。

回	内容
1	「発音してみよう」 1) アルファベ 2) フランス語の発音規則を学ぼう (1) 3) 相手の呼び方、tu とvous って何?
2	「挨拶してみよう」 1) あいさつの表現 2) フランス語の発の規則を学ぼう (2) 3) フランスの地図 (主要都市と周りの国々) を知ろう
3	「自己紹介をしよう」 (1) 1) 「です」を学ぶ 2) 名前はと言うの? 3) 国籍はと言うの?
4	「自己紹介をしよう」 (2) 1) 「です」活用テスト 2) 否定形 3) 男性形と女性形 4) ペアレッスン
5	「自己紹介をしよう」 (3) 1) 「私も」「私も…ない」 2) 学年と学部を言ってみよう 3) ペアレッスン
6	「自己紹介をしてみよう」 (4) 1) 聴き取り練習 2) 作文・会話練習 3) 練習問題に取り組む
7	「どこに住んでるの？」 (1) 1) 「住んでいる」を学ぶ 2) 規則動詞の活用のしかた 3) 否定形を言ってみよう
8	「どこに住んでるの？」 (2) 1) 「住んでいる」活用テスト 2) 場所の表し方 (…に、の近くに、から遠くに) 3) ペアレッスン
9	「どこに住んでるの？」 (3) 1) 出身地について話そう 2) ペアレッスン
10	「どこに住んでるの？」 (4) 1) 聴き取り練習 2) 作文・会話練習 3) 練習問題に取り組む
11	「交通手段は何？」 (1) 1) 「来る」を学ぶ 2) 疑問詞を学ぶ 3) 疑問文の語順を知ろう
12	「交通手段は何？」 (2) 1) 「来る」活用テスト 2) 疑問文を作ってみよう 3) 疑問文を用いて尋ねる・答える
13	「交通手段は何？」 (3) 1) どうやって来るの? 2) いろいろな移動手段を知ろう 3) 接続詞「そして」と「でも」 4) ペアレッスン
14	「交通手段は何？」 (4) 1) 聴き取り練習

授業内容

	2) 作文・会話練習 3) 練習問題に取り組む
	15 前期の復習
	16 「7月30日」：統一試験
キーワード	フランス語 I
教科書・教材・参考書	教科書：「モワ、ジュ コミュニケーション」 (アルマ出版) 参考書：仏和辞典 (「デイリーコンサイス仏和・和仏辞典を薦めます。生協にあります) または仏和・和仏辞典を搭載した電子辞書
成績評価の方法・基準等	定期試験 50%、小テスト 15% や課題 15%、授業態度 10%、Fr@ncego (自己学習) 10% を総合的に判断する
受講要件 (履修条件)	
備考 (URL)	
学生へのメッセージ	(先輩のメッセージ) 「大学の授業の中で一番フランス語の授業が好きでした！授業を受ける前は、フランス語は難しいと聞いていたし、実際勉強は必要だけれど、すごく楽しかったです！フランスがとても好きになりました！」ここまでは思えない人もいるでしょうが、楽しく学べて絶対会話ができるようになる授業を心がけています。外国語学習のコツは少しずつでもなるべく頻繁にその言語に触れることです。



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 フランス語**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	金 3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590029004	科目番号	05900290
授業科目名	●フランス語Ⅰ (M4～M6_T1～T5)		
編集担当教員	橋本 千鶴子		
授業担当教員名(科目責任者)	橋本 千鶴子		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	橋本 千鶴子		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 初習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養C棟]C-45(call3)		
対象学生（クラス等）	M4～6_T1～3		
担当教員Eメールアドレス	souslepont03@gmail.com		
担当教員研究室			
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	質問はメールで受け付けます。souslepont03@gmail.com		
授業の概要及び位置づけ	<p>教科書は<Moi, je>を使います。この教科書は、どうすればフランス語でコミュニケーションが上手に取れるようになるかを考えて作られています。フランスで日常よく使われる会話を楽しく学んでいきましょう。また、パリの観光地、ブティック、美術館、カフェ、レストランなどの、美しいだけでなく、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスのニュースや映画を通してフランスと日本の文化の違いも考え、客観的な物の見方も養います。</p> <p>フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ、旅行、語学研修、ホームステイに行った時、日常生活に必要な基礎的な会話を、無理なく学び、フランスの音楽や映画、ニュース等文化的・社会的な側面にも触れることをねらいとします。</p>		
授業到達目標	<p>(1) CALL教室を使用して、基本的に教科書に沿って進みます。</p> <p>(2) 文法や語彙だけではなく、オラルを重視し、ペアになったりグループになったりしながら、質問及びクラスメートに自分の言いたい事を伝える会話の練習を積極的にします。</p> <p>(3) 映像や音楽を取り入れながら、ディクテ（書き取り）もします。他にも教室内でチャットをしたりして、「書く力」をつけ、バランスよくフランス語を学びます。</p>		
授業方法（学習指導法）	<p>(1) 単語のつづりや文章を正しく発音できるようにし、数字も覚えます。</p> <p>(2) 冠詞や疑問文、否定文などのフランス語の文法の構造を理解します。</p> <p>(3) 「～である」や「持っている」等の基本的な動詞の活用を覚えてます。</p> <p>(4) 挨拶や自己紹介、また相手に質問したり、他の人達について説明をできるようにします。</p>		
	旅行や日常会話のフランス語を楽しく学び、フランス語学習を通じて新しい文化や生活習慣、考え方にふれます。またフランス人の目を通して日本の文化を見直します。		
	回	内容	

授業内容	1	「発音してみよう」 1) アルファベ 2) フランス語の発音規則を学ぼう (1) 3) 相手の呼び、tuとvousって何?
	2	「挨拶してみよう」 1) あいさつの表現 2) フランス語の発音規則を学ぼう (2) 3) フランスの地図 (主要都市と周りの国々)
	3	「自己紹介をしよう」 (1) 1) 「です」を学ぶ 2) 名前はと言うの? 3) 国籍はと言うの?
	4	「自己紹介をしよう」 (2) 1) 「です」活用テスト 2) 否定形 3) 男性形と女性形 4) ペアレッスン
	5	「自己紹介をしよう」 (3) 1) 「私も」「私も…ない」 2) 学年と学部を言ってみよう 3) ペアレッスン
	6	「自己紹介をしよう」 (4) 1) 聴き取り練習 2) 作文・会話練習 3) 練習問題に取り組む
	7	「どこに住んでるの?」 (1) 1) 「住んでいる」を学ぶ 2) 規則動詞の活用のしかた 3) 否定形を言ってみよう
	8	「どこに住んでるの?」 (2) 1) 「住んでいる」活用テスト 2) 場所の表し方 (…に、の近くに、から遠くに) 3) ペアレッスン
	9	「どこに住んでるの?」 (3) 1) 出身地について話そう 2) ペアレッスン
	10	「どこに住んでるの?」 (4) 1) 聴き取り練習 2) 作文・会話練習 3) 練習問題に取り組む
	11	「交通手段は何?」 (1) 1) 「来る」を学ぶ 2) 疑問詞を学ぶ 3) 疑問文の語順を知ろう
	12	「交通手段は何?」 (2) 1) 「来る」活用テスト 2) 疑問文を作ってみよう 3) 疑問文を用いて尋ねる・答える
	13	「交通手段は何?」 (3) 1) どうやって来るの? 2) いろいろな移動手段を知ろう 3) 接続詞「そして」と「でも」 4) ペアレッスン
	14	「交通手段は何?」 (4) 1) 聴き取り練習 2) 作文・会話練習 3) 練習問題に取り組む

	15 前期の復習
	16 「7月30日」：統一試験
キーワード	フランス語Ⅰ
教科書・教材・参考書	教科書：「モワ、ジュ コミュニケーション」 (アルマ出版) 参考書：仏和辞典 (「デイリーコンサイス仏和・和仏辞典を薦めます。生協にあります) または仏和・和仏辞典を搭載した電子辞書
成績評価の方法・基準等	定期試験50%、小テスト15%や課題15%、授業態度10%、Fr@ncego (自己学習) 10%を総合的に判断する
受講要件 (履修条件)	
備考 (URL)	
学生へのメッセージ	(先輩のメッセージ) 「大学の授業の中で一番フランス語の授業が好きでした！授業を受ける前は、フランス語は難しいと聞いていたし、実際勉強は必要だけれど、すごく楽しかったです！フランスがとても好きになりました！」 ここまでは思えない人もいるでしょうが、楽しく学べて絶対会話ができるようになる授業を心がけています。 外国語学習のコツは少しずつでもなるべく頻繁にその言語に触れることです。



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 フランス語**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	金 4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590029005	科目番号	05900290
授業科目名	●フランス語 I (T6~T10_M1~M3)		
編集担当教員	橋本 千鶴子		
授業担当教員名(科目責任者)	橋本 千鶴子		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	橋本 千鶴子		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 初習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養C棟]C-45(call3)		
対象学生（クラス等）	T6~10, M1~3, K3		
担当教員Eメールアドレス	souslepont03@gmail.com		
担当教員研究室			
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	質問はメールで受けます。souslepont03@gmail.com		
授業の概要及び位置づけ	<p>教科書は<Moi, je>を使います。この教科書は、どうすればフランス語でコミュニケーションが上手に取れるようになるかを考えて作られています。フランスで日常よく使われる会話を楽しく学んでいきましょう。また、パリの観光地、ブティック、美術館、カフェ、レストランなどの、美しいだけでなく、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスのニュースや映画を通してフランスと日本の文化の違いも考え、客観的な物の見方も養います。</p> <p>フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ、旅行、語学研修、ホームステイに行った時、日常生活に必要な基礎的な会話を、無理なく学び、フランスの音楽や映画、ニュース等文化的・社会的な側面にも触れることをねらいとします。</p>		
授業到達目標	<p>(1) CALL 教室を使用して、基本的に教科書に沿って進みます。</p> <p>(2) 文法や語彙だけではなく、オラルを重視し、ペアになったりグループになったりしながら、質問及びクラスメートに自分の言いたい事を伝える会話の練習を積極的にします。</p> <p>(3) 映像や音楽、インターネットなども利用して、フランス語の生きた使い方や文化を学習します。</p> <p>(4) ディクテ（書き取り）や、教室内でチャットをしたりして、「書く力」をつけ、バランスよくフランス語を学びます。</p>		
授業方法（学習指導法）	<p>(1) 単語のつづりや文章を正しく発音できるようにし、数字も覚えます。</p> <p>(2) 冠詞や疑問文、否定文などのフランス語の文法の構造を理解します。</p> <p>(3) 「～である」や「持っている」等の基本的な動詞の活用を覚えてます。</p> <p>(4) 挨拶や自己紹介、また相手に質問したり、他の人達について説明をできるようにします。</p>		

回	内容
旅行や日常会話のフランス語を楽しく学び、フランス語学習を通じて新しい文化や生活習慣、考え方にふれます。また、フランス人の目を通して日本の文化を見直します。	
1	「発音してみよう」 1) アルファベ 2) フランス語の発音規則を学ぼう (1) 3) 相手の呼び方、tu とvous って何?
2	「挨拶してみよう」 1) あいさつの表現 2) フランス語の発の規則を学ぼう (2) 3) フランスの地図 (主要都市と周りの国々) を知ろう
3	「自己紹介をしよう」 (1) 1) 「です」を学ぶ 2) 名前はと言うの? 3) 国籍はと言うの?
4	「自己紹介をしよう」 (2) 1) 「です」活用テスト 2) 否定形 3) 男性形と女性形 4) ペアレッスン
5	「自己紹介をしよう」 (3) 1) 「私も」「私も…ない」 2) 学年と学部を言ってみよう 3) ペアレッスン
6	「自己紹介をしよう」 (4) 1) 聴き取り練習 2) 作文・会話練習 3) 練習問題に取り組む
7	「どこに住んでるの？」 (1) 1) 「住んでいる」を学ぶ 2) 規則動詞の活用のしかた 3) 否定形を言ってみよう
8	「どこに住んでるの？」 (2) 1) 「住んでいる」活用テスト 2) 場所の表し方 (…に、の近くに、から遠くに) 3) ペアレッスン
9	「どこに住んでるの？」 (3) 1) 出身地について話そう 2) ペアレッスン
10	「どこに住んでるの？」 (4) 1) 聴き取り練習 2) 作文・会話練習 3) 練習問題に取り組む
11	「交通手段は何？」 (1) 1) 「来る」の活用 2) 疑問詞を学ぶ 3) 疑問文の語順を知ろう
12	「交通手段は何？」 (2) 1) 「来る」活用テスト 2) 疑問文を作ってみよう 3) 疑問文を用いて尋ねる・答える
13	「交通手段は何？」 (3) 1) どうやって来るの? 2) いろいろな移動手段を知ろう 3) 接続詞「そして」と「でも」 4) ペアレッスン

授業内容

	<p>「交通手段は何？」（４）</p> <p>14 1) 聴き取り練習 2) 作文・会話練習 3) 練習問題に取り組む</p> <p>15 前期の復習</p> <p>16 「7月30日」：統一試験</p>
キーワード	フランス語Ⅰ
教科書・教材・参考書	教科書：「モワ、ジュ コミュニケーション」（アルマ出版） 参考書：仏和辞典（「デイリーコンサイス仏和・和仏辞典を薦めます。生協にあります）または仏和・和仏辞典を掲載した電子辞書
成績評価の方法・基準等	定期試験50%、小テスト15%や課題15%、授業態度10%、Fr@ncego（自己学習）10%を総合的に判断する
受講要件（履修条件）	
備考（URL）	
学生へのメッセージ	(先輩のメッセージ) 「大学の授業の中で一番フランス語の授業が好きでした！授業を受ける前は、フランス語は難しいと聞いていたし、実際勉強は必要だけれど、すごく楽しかったです！フランスがとても好きになりました！」ここまでは思えない人もいるでしょうが、楽しく学べて絶対会話ができるようになる授業を心がけています。外国語学習のコツは少しずつでもなるべく頻繁にその言語に触れることです。



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 フランス語**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	火3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590029006	科目番号	05900290
授業科目名	●フランス語Ⅰ(G1～G3)		
編集担当教員	大橋 絵理		
授業担当教員名(科目責任者)	大橋 絵理		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	大橋 絵理		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 初習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養C棟]C-36(call2)		
対象学生（クラス等）	G1-3		
担当教員Eメールアドレス	eohashi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	環境科学部棟 1階(123-2)		
担当教員TEL	095-819-2086		
担当教員オフィスアワー	火曜日 12:00-12:50 水曜日 12:00-12:50 木曜日 10:30-12:00		
授業の概要及び位置づけ	<p>教科書は<Moi, je>を使います。この教科書は、どうすればフランス語でコミュニケーションが上手に取れるようになるかを考えて作られています。フランスで日常よく使われる会話を楽しく学んでいきましょう。また、パリの観光地、ブティック、美術館、カフェ、レストランなどの、美しいだけでなく、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスのニュースや映画を通してフランスと日本の文化の違いも考え、客観的な物の見方も養います。</p> <p>フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ、旅行、語学研修、ホームステイに行った時、日常生活に必要な基礎的な会話を、無理なく学び、フランスの音楽や映画、ニュース等文化的・社会的な側面にも触れることをねらいとします。</p>		
授業到達目標	<p>(1) 「行く」「来る」「ここはどこ？」などの基本動詞や基本表現を使えるようにします。</p> <p>(2) 形容詞や代名詞を使い、近い未来や近い過去などを使えるようにし、フランス語の文法の構造を理解します。</p> <p>(3) フランス人との交流においてしばしば話題として取り上げられるスポーツやフランスでの生活に不可欠な道の尋ね方、ホテルの泊り方、レストランでの注文の仕方を学びます。</p> <p>(4) 簡単なメールが書けるようにします。</p>		
授業方法（学習指導法）	<p>(1) CALL教室を使用して、基本的に教科書に沿って進みます。</p> <p>(2) 文法だけではなく、オラルを重視し、ペアになったりグループになったりしながら、質問及びクラスメートに自分の言いたい事を伝える会話の練習を積極的にします。</p> <p>(3) 映像や音楽、インターネットなども利用して、フランス語の生きた使い方や文化を学習します。</p> <p>(4) ディクテ（書き取り）や、教室内でチャットをしたりして、「書く力」をつけ、フランスよくフランス語を学びます。</p>		

フランス人と実際に交流する時に必要だと思われる実践的な会話や文法を学びます。そしてその過程の中で、フランス語の会話の機能に習熟し、コミュニケーション能力を高めます。また、フランス人の食生活や地方についてビデオやDVDを見ながら理解を深めます。2月4日が「統一試験」となります。

回	内容
1	9月30日:「発音してみよう」 1) アルファベ 2) フランス語の発音規則を学ぼう (1) 3) 相手の呼び方、tu とvous って何?
2	10月7日:「自己紹介をしよう」 (1) 1) 「です」を学ぶ 2) 名前はと言うの? 3) 国籍はと言うの?
3	10月14日:「自己紹介をしよう」 (3) 1) 「私も」「私も…ない」 2) 学年と学部を言ってみよう 3) ペアレッスン
4	10月21日:「どこに住んでるの?」 (2) 1) 「住んでいる」活用テスト 2) 場所の表し方 (…に、の近くに、から遠くに) 3) ペアレッスン
5	10月28日:「どこに住んでるの?」 (3) 1) 出身地について話そう 2) ペアレッスン
6	1) 11月4日:「交通手段は何?」 (1) 1) 「来る」の活用 2) 疑問詞を学ぶ 3) 疑問文の語順を知ろう
7	12月11日:「交通手段は何?」 (3) 1) どうやって来るの? 2) いろいろな移動手段を知ろう 3) 接続詞etとmais 4) ペアレッスン
8	11月18日:「今までの復習」
9	11月25日:「アルバイトについて話そう」 (1) 1) リエゾンって何? 2) 「働く」を言ってみよう 3) ペアレッスンをしてみよう
10	12月2日:「アルバイトについて話す」 (3) 1) お給料はいくら? 2) アルバイトについてフランス語で語り合おう 3) フランス語を聞き取ろう
11	12月9日:「ペットについて話そう」 (2) 1) ペットはかわいい? 2) 兄弟・姉妹はいる? 3) ペアレッスン
12	12月16日:「授業、先生のこと」 (1) 1) 「好き」の動詞を学ぼう 2) どの授業が好き? 3) ペアレッスン
13	1月6日:「授業、先生のこと」 (3) 1) 10~20まで覚えよう 2) 数字を聞き取ろう 3) ペアレッスン
14	1月13日:「どんな食べ物が好き?」 (2) 1) 朝何食べる? 2) 欲しいもの何?

授業内容

	3) ペアレッシン
15	1月20日:「家事について話そう」(1) 1) 「する」の動詞を学ぼう 2) どんな家事がある? 3) 練習問題を解く
16	2月3日:「家事について話そう」(3) 1) 「それは～です」 2) 家族に関する単語を覚えよう 3) 一人暮らししてる? 会話してみよう
キーワード	フランス語II
教科書・教材・参考書	「モワ、ジュ(コミュニケーション)」(アルマ出版) 辞書(仏和辞典あるいは電子辞書)は必ず必要です。 生協には「デイリーコンサイス仏和仏辞典」が売っています。なお、電子辞書の「フランス旅行会話」は全く役にたちません。きちんとしたフランス語辞書を入れて下さい。
成績評価の方法・基準等	定期試験50%、小テスト15%や課題15%、授業態度10%、Fr@ncego(自己学習)10%を総合的に判断する
受講要件(履修条件)	
備考(URL)	
学生へのメッセージ	(先輩のメッセージ) 「大学の授業の中で一番フランス語の授業が好きでした! 授業を受ける前は、フランス語は難しいと聞いていたし、実際勉強は必要だけど、すごく楽しかったです! フランスがとても好きになりました!」ここまでは思えない人もいるでしょうが、楽しく学べて絶対会話ができるようになる授業を心がけています。外国語学習のコツは少しずつでもなるべく頻繁にその言語に触れることです。



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 フランス語**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590031001	科目番号	05900310
授業科目名	●フランス語II(G1~G3)		
編集担当教員	大橋 絵理		
授業担当教員名(科目責任者)	大橋 絵理		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	大橋 絵理		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 初習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養C棟]C-36(call2)		
対象学生（クラス等）	G1~3		
担当教員Eメールアドレス	eohashi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	環境科学部棟1階(123-2)		
担当教員TEL	095-819-2086		
担当教員オフィスアワー	火曜日 12:00-12:50 水曜日 12:00-12:50 木曜日 10:30-12:00		
授業の概要及び位置づけ	世界の多くの地域で話され、世界中の学校で学ばれているフランス語。この授業ではフランス語で自分や身の回りのことを語ったり相手に尋ねるといったコミュニケーションの基礎を学びます。学習した知識をすぐにコミュニケーション活動に結びつけ、実践的表現力を身につけていく授業です。		
授業到達目標	<p>ヨーロッパ言語共通参照枠のA1レベルに到達するための入門段階になります。具体的にはフランス語のアルファベットと綴りの読み方の基礎を覚える、国籍や身分を言う、住んでいるところや出身地について話す、交通手段について話す、などの日常会話ができるようになることです。</p> <p>(1) 「行く」「来る」「ここはどこ？」などの基本動詞や基本表現を使えるようにします。 (2) 形容詞や代名詞を使い、近い未来や近い過去などを使えるようにし、フランス語の文法の構造を理解します。 (3) フランス人との交流においてしばしば話題として取り上げられるスポーツやフランスでの生活に不可欠な道の尋ね方、ホテルの泊り方、レストランでの注文の仕方を学びます。 (4) 簡単なメールが書けるようにします。</p>		
授業方法（学習指導法）	<p>(1) CALL教室を使用して、基本的に教科書に沿って進みます。 (2) 文法だけではなく、オラルを重視し、ペアになったりグループになったりしながら、質問及びクラスメートに自分の言いたい事を伝える会話の練習を積極的にします。 (3) 教室内でチャットをしたり、フランス語のメール書くことによって、「書く力」もつけます。</p>		
	フランス人と実際に交流する時に必要だと思われる実践的な会話や文法を学びます。そしてその過程の中で、フランス語の会話の機能に習熟し、コミュニケーション能力を高めます。また、フランス人の食生活や地方についてビデオやDVDを見ながら理解を深めます。2月4日が「統一試験」となります。		

授業内容	回	内容
	1	「挨拶してみよう」 1) あいさつの表現 2) フランス語の発音の規則を学ぼう (2) 3) フランスの地図 (主要都市と周りの国々) を知ろう
	2	「自己紹介をしよう」 (2) 1) 「です」活用テスト 2) 否定形 3) 男性形と女性形 4) ペアレッスン
	3	「自己紹介をしよう」 (4) 1) 聴き取り練習 2) 作文・会話練習 3) 練習問題に取り組む
	4	「どこに住んでるの？」 (2) 1) 「住んでいる」活用テスト 2) 場所の表し方 (…に、の近くに、から遠くに) 3) ペアレッスン
	5	「どこに住んでるの？」 (4) 1) 聴き取り練習 2) 作文・会話練習 3) 練習問題に取り組む
	6	「交通手段は何？」 (2) 1) 「来る」活用テスト 2) 疑問文を作ってみよう 3) 疑問文を用いて尋ねる・答える
	7	「交通手段は何？」 (4) 1) 聴き取り練習 2) 作文・会話練習 3) 練習問題に取り組む
	8	「中間テスト」
	9	「アルバイトについて話す」 (2) 1) 疑問文を学ぼう 2) どんなアルバイト？ 3 「働く」の小テスト
	10	「ペットについて話そう」 (1) 1) 「持っている」の動詞を学ぶ 2) ペット飼ってる？ 3) フランスのペット事情
	11	「ペットについて話そう」 (3) 1) 否定文を学ぶ 2) 飼ってない、持ってないを言おう 3) 練習問題を解く
	12	「授業、先生のこと」 (2) 1) 授業科目を言ってみよう 2) 練習問題を解く 3) 1～10まで覚えよう
	13	「どんな食べ物が好き？」 (1) 1) 食べ物、飲み物の単語を覚える 2) 食べ物、飲み物につく冠詞って何？ 3) 「食べる」の動詞を学ぶ
	14	「どんな食べ物が好き？」 (3) 1) 聞き取りをしよう 2) クラスメイトにアンケートをしてみよう 3) 食べ物、飲み物の10単語の小テスト
	15	「家事について話そう」 (2) 1) 誰がどの家事をする？

	2) 「私の」「あなたを」を学ぼう 3) 聞き取りをしよう
	16 統一試験
キーワード	フランス語II
教科書・教材・参考書	「モワ、ジュ(コミュニケーション)」(アルマ出版) 辞書(仏和辞典あるいは電子辞書)は必ず必要です。 生協には「デイリーコンサイス仏和和仏辞典」が売っています。なお、電子辞書の「フランス旅行会話」は全く役にたちません。きちんとしたフランス語辞書を入れて下さい。
成績評価の方法・基準等	定期試験50%、小テスト15%や課題15%、授業態度10%、Fr@ncego(自己学習)10%を総合的に判断する
受講要件(履修条件)	
備考(URL)	
学生へのメッセージ	シラバスを参考に、授業の内容を把握して予習をし、次の回に予定されている小テストのための復習をしっかりとすること。自己学習のfr@nce.goも有効に活用しましょう。 C'est en forgeant qu'on devient forgeron. 「鉄を鍛えていればこそ鍛冶屋になれる=習うより慣れろ」(フランスのことわざ)



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 フランス語**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水1
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590031002	科目番号	05900310
授業科目名	●フランス語II (P1・P2_F1~F3_K1・K2・K3)		
編集担当教員	富田 高嗣		
授業担当教員名(科目責任者)	富田 高嗣		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	富田 高嗣		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 初習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養C棟]C-36(call2)		
対象学生（クラス等）	P1・2, F1~3, K1~2		
担当教員Eメールアドレス	eohashi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	環境科学部棟1階(123-2)		
担当教員TEL	095-819-2086		
担当教員オフィスアワー	火曜日 12:00-12:50 水曜日 12:00-12:50 木曜日 10:30-12:00		
授業の概要及び位置づけ	世界の多くの地域で話され、世界中の学校で学ばれているフランス語。この授業ではフランス語で自分や身の回りのことを語ったり相手に尋ねるといったコミュニケーションの基礎を学びます。学習した知識をすぐにコミュニケーション活動に結びつけ、実践的表現力を身につけていく授業です。		
授業到達目標	<p>ヨーロッパ言語共通参照枠のA1レベルに到達するための入門段階になります。具体的にはフランス語のアルファベットと綴りの読み方の基礎を覚える、国籍や身分を言う、住んでいるところや出身地について話す、交通手段について話す、などの日常会話ができるようになることです。</p> <p>(1) 「行く」「来る」「ここはどこ？」などの基本動詞や基本表現を使えるようにします。 (2) 形容詞や代名詞を使い、近い未来や近い過去などを使えるようにし、フランス語の文法の構造を理解します。 (3) フランス人との交流においてしばしば話題として取り上げられるスポーツやフランスでの生活に不可欠な道の尋ね方、ホテルの泊り方、レストランでの注文の仕方を学びます。 (4) 簡単なメールが書けるようにします。</p>		
授業方法（学習指導法）	<p>(1) CALL教室を使用して、基本的に教科書に沿って進みます。 (2) 文法だけではなく、オラルを重視し、ペアになったりグループになったりしながら、質問及びクラスメートに自分の言いたい事を伝える会話の練習を積極的にします。 (3) 教室内でチャットをしたり、フランス語のメール書くことによって、「書く力」もつけます。</p>		
	<p>前期の「モワ、ジュ（コミュニケーション）」の続きです。 フランス人と実際に交流する時に必要だと思われる実践的な会話や文法を学びます。そしてその過程の中で、フランス語の会話の機能に習熟し、コミュニケーション能力を高めます。また、フランス人の食生活や地方についてビデオやDVDを見ながら理解を深めます。</p>		

2月4日が「統一試験」となります。

授業内容

回	内容
1	「アルバイトについて話そう」(1) 1) リエゾンって何? 2) 「働く」を言ってみよう 3) ペアレッションをしてみよう
2	「アルバイトについて話す」(2) 1) 疑問文を学ぼう 2) どんなアルバイト? 3 「働く」の小テスト
3	「アルバイトについて話す」(3) 1) お給料はいくら? 2) アルバイトについてフランス語で語り合おう 3) フランス語を聞き取ろう
4	「ペットについて話そう」(1) 1) 「持っている」の動詞を学ぶ 2) ペット飼ってる? 3) フランスのペット事情
5	「ペットについて話そう」(2) 1) ペットはかわいい? 2) 兄弟・姉妹はいる? 3) ペアレッション
6	「ペットについて話そう」(3) 1) 否定文を学ぶ 2) 飼ってない、持ってないを言おう 3) 練習問題を解く
7	「授業、先生のこと」(1) 1) 「好き」の動詞を学ぼう 2) どの授業が好き? 3) ペアレッション
8	「授業、先生のこと」(2) 1) 授業科目を言ってみよう 2) 練習問題を解く 3) 1~10まで覚えよう
9	「授業、先生のこと」(3) 1) 10~20まで覚えよう 2) 数字を聞き取ろう 3) ペアレッション
10	「どんな食べ物が好き?」(1) 1) 食べ物、飲み物の単語を覚える 2) 食べ物、飲み物につく冠詞って何? 3) 「食べる」の動詞を学ぶ
11	「どんな食べ物が好き?」(2) 1) 朝何食べる? 2) 欲しいもの何? 3) ペアレッション
12	「どんな食べ物が好き?」(3) 1) 聞き取りをしよう 2) クラスメートにアンケートをしてみよう 3) 食べ物、飲み物の10単語の小テスト
13	「家事について話そう」(1) 1) 「する」の動詞を学ぼう 2) どんな家事がある? 3) 練習問題を解く
14	「家事について話そう」(2) 1) 誰がどの家事をする? 2) 「私の」「あなたを」を学ぼう

	3) 聞き取りをしよう
15	「家事について話そう」(3) 1) 「それは～です」 2) 家族に関する単語を覚えよう 3) 一人暮らししてる? 会話してみよう
16	統一試験
キーワード	フランス語II
教科書・教材・参考書	「モワ、ジュ(コミュニケーション)」(アルマ出版) 辞書(仏和辞典あるいは電子辞書)は必ず必要です。 生協には「デイリーコンサイス仏和和仏辞典」が売っています。なお、電子辞書の「フランス旅行会話」は全く役にたちません。きちんとしたフランス語辞書を入れて下さい。
成績評価の方法・基準等	定期試験50%、小テスト15%や課題15%、授業態度10%、Fr@ncego(自己学習)10%を総合的に判断する
受講要件(履修条件)	
備考(URL)	
学生へのメッセージ	意見や疑問に思ったことは、授業中でも授業が終わった後でも、積極的に質問して下さい。語学はコミュニケーションのために勉強します。質問も大切なコミュニケーションです。



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 フランス語**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590031003	科目番号	05900310
授業科目名	●フランス語II(E1~E6)		
編集担当教員	大橋 絵理		
授業担当教員名(科目責任者)	大橋 絵理		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	大橋 絵理		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 初習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養C棟]C-36(call2)		
対象学生（クラス等）	E1~6		
担当教員Eメールアドレス	eohashi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	環境科学部棟1階(123-2)		
担当教員TEL	095-819-2086		
担当教員オフィスアワー	火曜日 12:00-12:50 水曜日 12:00-12:50 木曜日 10:30-12:00		
授業の概要及び位置づけ	世界の多くの地域で話され、世界中の学校で学ばれているフランス語。この授業ではフランス語で自分や身の回りのことを語ったり相手に尋ねるといったコミュニケーションの基礎を学びます。学習した知識をすぐにコミュニケーション活動に結びつけ、実践的表現力を身につけていく授業です。		
授業到達目標	<p>ヨーロッパ言語共通参照枠のA1レベルに到達するための入門段階になります。具体的にはフランス語のアルファベットと綴りの読み方の基礎を覚える、国籍や身分を言う、住んでいるところや出身地について話す、交通手段について話す、などの日常会話ができるようになることです。</p> <p>(1) 「行く」「来る」「ここはどこ？」などの基本動詞や基本表現を使えるようにします。 (2) 形容詞や代名詞を使い、近い未来や近い過去などを使えるようにし、フランス語の文法の構造を理解します。 (3) フランス人との交流においてしばしば話題として取り上げられるスポーツやフランスでの生活に不可欠な道の尋ね方、ホテルの泊り方、レストランでの注文の仕方を学びます。 (4) 簡単なメールが書けるようにします。</p>		
授業方法（学習指導法）	<p>(1) CALL教室を使用して、基本的に教科書に沿って進みます。 (2) 文法だけではなく、オラルを重視し、ペアになったりグループになったりしながら、質問及びクラスメートに自分の言いたい事を伝える会話の練習を積極的にします。 (3) 教室内でチャットをしたり、フランス語のメール書くことによって、「書く力」もつきます。</p>		
	<p>前期の「モワ、ジュ（コミュニケーション）」の続きです。 フランス人と実際に交流する時に必要だと思われる実践的な会話や文法を学びます。そしてその過程の中で、フランス語の会話の機能に習熟し、コミュニケーション能力を高めます。また、フランス人の食生活や地方についてビデオやDVDを見ながら理解を深めます。</p>		

2月4日が「統一試験」となります。

授業内容

回	内容
1	「アルバイトについて話そう」(1) 1) リエゾンって何? 2) 「働く」を言ってみよう 3) ペアレッスンをしてみよう
2	「アルバイトについて話す」(2) 1) 疑問文を学ぼう 2) どんなアルバイト? 3 「働く」の小テスト
3	「アルバイトについて話す」(3) 1) お給料はいくら? 2) アルバイトについてフランス語で語り合おう 3) フランス語を聞き取ろう
4	「ペットについて話そう」(1) 1) 「持っている」の動詞を学ぶ 2) ペット飼ってる? 3) フランスのペット事情
5	「ペットについて話そう」(2) 1) ペットはかわいい? 2) 兄弟・姉妹はいる? 3) ペアレッスン
6	「ペットについて話そう」(3) 1) 否定文を学ぶ 2) 飼ってない、持ってないを言おう 3) 練習問題を解く
7	「授業、先生のこと」(1) 1) 「好き」の動詞を学ぼう 2) どの授業が好き? 3) ペアレッスン
8	「授業、先生のこと」(2) 1) 授業科目を言ってみよう 2) 練習問題を解く 3) 1~10まで覚えよう
9	「授業、先生のこと」(3) 1) 10~20まで覚えよう 2) 数字を聞き取ろう 3) ペアレッスン
10	「どんな食べ物が好き?」(1) 1) 食べ物、飲み物の単語を覚える 2) 食べ物、飲み物につく冠詞って何? 3) 「食べる」の動詞を学ぶ
11	「どんな食べ物が好き?」(2) 1) 朝何食べる? 2) 欲しいもの何? 3) ペアレッスン
12	「どんな食べ物が好き?」(3) 1) 聞き取りをしよう 2) クラスメートにアンケートをしてみよう 3) 食べ物、飲み物の10単語の小テスト
13	「家事について話そう」(1) 1) 「する」の動詞を学ぼう 2) どんな家事がある? 3) 練習問題を解く
14	1月7日:「家事について話そう」(2) 1) 誰がどの家事をする? 2) 「私の」「あなたを」を学ぼう

	3) 聞き取りをしよう
15	「家事について話そう」(3) 1) 「それは～です」 2) 家族に関する単語を覚えよう 3) 一人暮らししてる? 会話してみよう
16	統一試験
キーワード	フランス語II
教科書・教材・参考書	「モワ、ジュ(コミュニケーション)」(アルマ出版) 辞書(仏和辞典あるいは電子辞書)は必ず必要です。 生協には「デイリーコンサイス仏和和仏辞典」が売っています。なお、電子辞書の「フランス旅行会話」は全く役にたちません。きちんとしたフランス語辞書を入れて下さい。
成績評価の方法・基準等	定期試験50%、小テスト15%や課題15%、授業態度10%、Fr@ncego(自己学習)10%を総合的に判断する
受講要件(履修条件)	
備考(URL)	
学生へのメッセージ	意見や疑問に思ったことは、授業中でも授業が終わった後でも、積極的に質問して下さい。語学はコミュニケーションのために勉強します。質問も大切なコミュニケーションです。



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 フランス語**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590031004	科目番号	05900310
授業科目名	●フランス語II(L1~L6_D1・D2)		
編集担当教員	大橋 絵理		
授業担当教員名(科目責任者)	大橋 絵理		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	大橋 絵理		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 初習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養C棟]C-36(call2)		
対象学生（クラス等）	L1~6, D1~2		
担当教員Eメールアドレス	eohashi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	環境科学部棟1階(123-2)		
担当教員TEL	095-819-2086		
担当教員オフィスアワー	火曜日 12:00-12:50 水曜日 12:00-12:50 木曜日 10:30-12:00		
授業の概要及び位置づけ	世界の多くの地域で話され、世界中の学校で学ばれているフランス語。この授業ではフランス語で自分や身の回りのことを語ったり相手に尋ねるといったコミュニケーションの基礎を学びます。学習した知識をすぐにコミュニケーション活動に結びつけ、実践的表現力を身につけていく授業です。		
授業到達目標	<p>(1) 「行く」「来る」「ここはどこ？」などの基本動詞や基本表現を使えるようにします。</p> <p>(2) 形容詞や代名詞を使い、近い未来や近い過去などを使えるようにし、フランス語の文法の構造を理解します。</p> <p>(3) フランス人との交流においてしばしば話題として取り上げられるスポーツやフランスでの生活に不可欠な道の尋ね方、ホテルの泊り方、レストランでの注文の仕方を学びます。</p> <p>(4) 簡単なメールが書けるようになります。</p>		
授業方法（学習指導法）	<p>(1) CALL教室を使用して、基本的に教科書に沿って進みます。</p> <p>(2) 文法だけではなく、オラルを重視し、ペアになったりグループになったりしながら、質問及びクラスメートに自分の言いたい事を伝える会話の練習を積極的にします。</p> <p>(3) 教室内でチャットをしたり、フランス語のメール書くことによって、「書く力」もつきます。</p>		
	<p>前期の「モワ、ジュ（コミュニケーション）」の続きです。 フランス人と実際に交流する時に必要だと思われる実践的な会話や文法を学びます。そしてその過程の中で、フランス語の会話の機能に習熟し、コミュニケーション能力を高めます。また、フランス人の食生活や地方についてビデオやDVDを見ながら理解を深めます。 2月4日が「統一試験」となります。</p>		
	回	内容	
	1	「アルバイトについて話そう」(1) 1) リエゾンって何？	

授業内容		2) 「働く」を言ってみよう 3) ペアレッスンをしてみよう
	2	「アルバイトについて話す」(2) 1) 疑問文を学ぼう 2) どんなアルバイト? 3 「働く」の小テスト
	3	「アルバイトについて話す」(3) 1) お給料はいくら? 2) アルバイトについてフランス語で語り合おう 3) フランス語を聞き取ろう
	4	「ペットについて話そう」(1) 1) 「持っている」の動詞を学ぶ 2) ペット飼ってる? 3) フランスのペット事情
	5	「ペットについて話そう」(2) 1) ペットはかわいい? 2) 兄弟・姉妹はいる? 3) ペアレッスン
	6	「ペットについて話そう」(3) 1) 否定文を学ぶ 2) 飼ってない、持ってないを言おう 3) 練習問題を解く
	7	「授業、先生のこと」(1) 1) 「好き」の動詞を学ぼう 2) どの授業が好き? 3) ペアレッスン
	8	「授業、先生のこと」(2) 1) 授業科目を言ってみよう 2) 練習問題を解く 3) 1~10まで覚えよう
	9	「授業、先生のこと」(3) 1) 10~20まで覚えよう 2) 数字を聞き取ろう 3) ペアレッスン
	10	「どんな食べ物が好き?」(1) 1) 食べ物、飲み物の単語を覚える 2) 食べ物、飲み物につく冠詞って何? 3) 「食べる」の動詞を学ぶ
	11	「どんな食べ物が好き?」(2) 1) 朝何食べる? 2) 欲しいもの何? 3) ペアレッスン
	12	「どんな食べ物が好き?」(3) 1) 聞き取りをしよう 2) クラスメイトにアンケートをしてみよう 3) 食べ物、飲み物の10単語の小テスト
	13	「家事について話そう」(1) 1) 「する」の動詞を学ぼう 2) どんな家事がある? 3) 練習問題を解く
	14	「家事について話そう」(2) 1) 誰がどの家事をする? 2) 「私の」「あなたを」を学ぼう 3) 聞き取りをしよう
	15	「家事について話そう」(3) 1) 「それは~です」 2) 家族に関する単語を覚えよう 3) 一人暮らししてる?会話してみよう

	16 統一試験
キーワード	フランス語II
教科書・教材・参考書	「モワ、ジュ(コミュニケーション)」(アルマ出版) 辞書(仏和辞典あるいは電子辞書)は必ず必要です。 生協には「デイリーコンサイス仏和和仏辞典」が売っています。なお、電子辞書の「フランス旅行会話」は全く役にたちません。きちんとしたフランス語辞書を入れて下さい。
成績評価の方法・基準等	定期試験50%、小テスト15%や課題15%、授業態度10%、Fr@ncego(自己学習)10%を総合的に判断する
受講要件(履修条件)	
備考(URL)	
学生へのメッセージ	意見や疑問に思ったことは、授業中でも授業が終わった後でも、積極的に質問して下さい。語学はコミュニケーションのために勉強します。質問も大切なコミュニケーションです。



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 フランス語**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	金 3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590031005	科目番号	05900310
授業科目名	●フランス語II (M4～M6_T1～T5)		
編集担当教員	橋本 千鶴子		
授業担当教員名(科目責任者)	橋本 千鶴子		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	橋本 千鶴子		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 初習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養C棟]C-45(call3)		
対象学生（クラス等）	M4～6, T1～5		
担当教員Eメールアドレス	souslepont03@gmail.com		
担当教員研究室			
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	質問はメールで受け付けます。souslepont03@gmail.com		
授業の概要及び位置づけ	世界の多くの地域で話され、世界中の学校で学ばれているフランス語。この授業ではフランス語で自分や身の回りのことを語ったり相手に尋ねるといったコミュニケーションの基礎を学びます。学習した知識をすぐにコミュニケーション活動に結びつけ、実践的表現力を身につけていく授業です。		
授業到達目標	<p>ヨーロッパ言語共通参照枠のA1レベルに到達するための入門段階になります。具体的にはフランス語のアルファベットと綴りの読み方の基礎を覚える、国籍や身分を言う、住んでいるところや出身地について話す、交通手段について話す、などの日常会話ができるようになることです。</p> <p>(1) 「行く」「来る」「ここはどこ？」などの基本動詞や基本表現を使えるようにします。 (2) 形容詞や代名詞を使い、近い未来や近い過去などを使えるようにし、フランス語の文法の構造を理解します。 (3) フランス人との交流においてしばしば話題として取り上げられるスポーツやフランスでの生活に不可欠な道の尋ね方、ホテルの泊り方、レストランでの注文の仕方を学びます。 (4) 簡単なメールが書けるようになります。</p>		
授業方法（学習指導法）	<p>(1) CALL教室を使用して、基本的に教科書に沿って進みます。 (2) 文法だけではなく、オラルを重視し、ペアになったりグループになったりしながら、質問及びクラスメートに自分の言いたい事を伝える会話の練習を積極的にします。 (3) 教室内でチャットをしたり、フランス語のメール書くことによって、「書く力」もつきます。</p>		
	<p>前期の「モワ、ジュ（コミュニケーション）」の続きです。 フランス人と実際に交流する時に必要だと思われる実践的な会話や文法を学びます。そしてその過程の中で、フランス語の会話の機能に習熟し、コミュニケーション能力を高めます。また、フランス人の食生活や地方についてビデオやDVDを見ながら理解を深めます。</p>		

2月4日が「統一試験」となります。

授業内容

回	内容
1	「アルバイトについて話そう」(1) 1) リエゾンって何? 2) 「働く」を言ってみよう 3) ペアレッションをしてみよう
2	「アルバイトについて話す」(2) 1) 疑問文を学ぼう 2) どんなアルバイト? 3 「働く」の小テスト
3	「アルバイトについて話す」(3) 1) お給料はいくら? 2) アルバイトについてフランス語で語り合おう 3) フランス語を聞き取ろう
4	「ペットについて話そう」(1) 1) 「持っている」の動詞を学ぶ 2) ペット飼ってる? 3) フランスのペット事情
5	「ペットについて話そう」(2) 1) ペットはかわいい? 2) 兄弟・姉妹はいる? 3) ペアレッション
6	「ペットについて話そう」(3) 1) 否定文を学ぶ 2) 飼ってない、持ってないを言おう 3) 練習問題を解く
7	「授業、先生のこと」(1) 1) 「好き」の動詞を学ぼう 2) どの授業が好き? 3) ペアレッション
8	「授業、先生のこと」(2) 1) 授業科目を言ってみよう 2) 練習問題を解く 3) 1~10まで覚えよう
9	「授業、先生のこと」(3) 1) 10~20まで覚えよう 2) 数字を聞き取ろう 3) ペアレッション
10	「どんな食べ物が好き?」(1) 1) 食べ物、飲み物の単語を覚える 2) 食べ物、飲み物につく冠詞って何? 3) 「食べる」の動詞を学ぶ
11	「どんな食べ物が好き?」(2) 1) 朝何食べる? 2) 欲しいもの何? 3) ペアレッション
12	「どんな食べ物が好き?」(3) 1) 聞き取りをしよう 2) クラスメートにアンケートをしてみよう 3) 食べ物、飲み物の10単語の小テスト
13	「家事について話そう」(1) 1) 「する」の動詞を学ぼう 2) どんな家事がある? 3) 練習問題を解く
14	「家事について話そう」(2) 1) 誰がどの家事をする? 2) 「私の」「あなたを」を学ぼう

	3) 聞き取りをしよう
15	「家事について話そう」(3) 1) 「それは～です」 2) 家族に関する単語を覚えよう 3) 一人暮らししてる? 会話してみよう
16	統一試験
キーワード	フランス語II
教科書・教材・参考書	「モワ、ジュ(コミュニケーション)」(アルマ出版) 辞書(仏和辞典あるいは電子辞書)は必ず必要です。 生協には「デイリーコンサイス仏和和仏辞典」が売っています。なお、電子辞書の「フランス旅行会話」は全く役にたちません。きちんとしたフランス語辞書を入れて下さい。
成績評価の方法・基準等	定期試験50%、小テスト15%や課題15%、授業態度10%、Fr@ncego(自己学習)10%を総合的に判断する
受講要件(履修条件)	
備考(URL)	
学生へのメッセージ	意見や疑問に思ったことは、授業中でも授業が終わった後でも、積極的に質問して下さい。語学はコミュニケーションのために勉強します。質問も大切なコミュニケーションです。



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 フランス語**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	金 4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590031006	科目番号	05900310
授業科目名	●フランス語II (T6~T10_M1~M3)		
編集担当教員	橋本 千鶴子		
授業担当教員名(科目責任者)	橋本 千鶴子		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	橋本 千鶴子		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 初習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養C棟]C-16		
対象学生（クラス等）	T5~10, M1~3, K3		
担当教員Eメールアドレス	souslepont03@gmail.com		
担当教員研究室			
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	質問はメールで受け付けます。souslepont03@gmail.com		
授業の概要及び位置づけ	世界の多くの地域で話され、世界中の学校で学ばれているフランス語。この授業ではフランス語で自分や身の回りのことを語ったり相手に尋ねるといったコミュニケーションの基礎を学びます。学習した知識をすぐにコミュニケーション活動に結びつけ、実践的表現力を身につけていく授業です。		
授業到達目標	<p>ヨーロッパ言語共通参照枠のA1レベルに到達するための入門段階になります。具体的にはフランス語のアルファベットと綴りの読み方の基礎を覚える、国籍や 身分を言う、住んでいるところや出身地について話す、交通手段について話す、などの日常会話ができるようになることです。</p> <p>(1) 「行く」「来る」「ここはどこ？」などの基本動詞や基本表現を使えるようにします。 (2) 形容詞や代名詞を使い、近い未来や近い過去などを使えるようにし、フランス語の文法の構造を理解します。 (3) フランス人との交流においてしばしば話題として取り上げられるスポーツやフランスでの生活に不可欠な道の尋ね方、ホテルの泊り方、レストランでの注文の仕方を学びます。 (4) 簡単なメールが書けるようになります。</p>		
授業方法（学習指導法）	<p>(1) CALL教室を使用して、基本的に教科書に沿って進みます。 (2) 文法だけではなく、オラルを重視し、ペアになったりグループになったりしながら、質問及びクラスメートに自分の言いたい事を伝える会話の練習を積極的にします。 (3) 教室内でチャットをしたり、フランス語のメール書くことによって、「書く力」もつきます。</p>		
	<p>前期の「モワ、ジュ（コミュニケーション）」の続きです。 フランス人と実際に交流する時に必要だと思われる実践的な会話や文法を学びます。そしてその過程の中で、フランス語の会話の機能に習熟し、コミュニケーション能力を高めます。また、フランス人の食生活や地方についてビデオやDVDを見ながら理解を深めます。</p>		

2月4日が「統一試験」となります。

授業内容

回	内容
1	「アルバイトについて話そう」(1) 1) リエゾンって何? 2) 「働く」を言ってみよう 3) ペアレッションをしてみよう
2	「アルバイトについて話す」(2) 1) 疑問文を学ぼう 2) どんなアルバイト? 3 「働く」の小テスト
3	「アルバイトについて話す」(3) 1) お給料はいくら? 2) アルバイトについてフランス語で語り合おう 3) フランス語を聞き取ろう
4	「ペットについて話そう」(1) 1) 「持っている」の動詞を学ぶ 2) ペット飼ってる? 3) フランスのペット事情
5	「ペットについて話そう」(2) 1) ペットはかわいい? 2) 兄弟・姉妹はいる? 3) ペアレッション
6	「ペットについて話そう」(3) 1) 否定文を学ぶ 2) 飼ってない、持ってないを言おう 3) 練習問題を解く
7	「授業、先生のこと」(1) 1) 「好き」の動詞を学ぼう 2) どの授業が好き? 3) ペアレッション
8	「授業、先生のこと」(2) 1) 授業科目を言ってみよう 2) 練習問題を解く 3) 1~10まで覚えよう
9	「授業、先生のこと」(3) 1) 10~20まで覚えよう 2) 数字を聞き取ろう 3) ペアレッション
10	「どんな食べ物が好き?」(1) 1) 食べ物、飲み物の単語を覚える 2) 食べ物、飲み物につく冠詞って何? 3) 「食べる」の動詞を学ぶ
11	「どんな食べ物が好き?」(2) 1) 朝何食べる? 2) 欲しいもの何? 3) ペアレッション
12	「どんな食べ物が好き?」(3) 1) 聞き取りをしよう 2) クラスメートにアンケートをしてみよう 3) 食べ物、飲み物の10単語の小テスト
13	「家事について話そう」(1) 1) 「する」の動詞を学ぼう 2) どんな家事がある? 3) 練習問題を解く
14	「家事について話そう」(2) 1) 誰がどの家事をする? 2) 「私の」「あなたを」を学ぼう

	3) 聞き取りをしよう
15	「家事について話そう」(3) 1) 「それは～です」 2) 家族に関する単語を覚えよう 3) 一人暮らししてる? 会話してみよう
16	統一試験
キーワード	フランス語II
教科書・教材・参考書	「モワ、ジュ(コミュニケーション)」(アルマ出版) 辞書(仏和辞典あるいは電子辞書)は必ず必要です。 生協には「デイリーコンサイス仏和和仏辞典」が売っています。なお、電子辞書の「フランス旅行会話」は全く役にたちません。きちんとしたフランス語辞書を入れて下さい。
成績評価の方法・基準等	定期試験50%、小テスト15%や課題15%、授業態度10%、Fr@ncego(自己学習)10%を総合的に判断する
受講要件(履修条件)	
備考(URL)	
学生へのメッセージ	意見や疑問に思ったことは、授業中でも授業が終わった後でも、積極的に質問して下さい。語学はコミュニケーションのために勉強します。質問も大切なコミュニケーションです。



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 フランス語**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	火1
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590033001	科目番号	05900330
授業科目名	●フランス語Ⅲ(2T1～2T10)		
編集担当教員	大橋 絵理		
授業担当教員名(科目責任者)	大橋 絵理		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	大橋 絵理		
科目分類	B科目 外国語 初習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養C棟]C-36(call2)		
対象学生（クラス等）	2T1～10		
担当教員Eメールアドレス	eohashi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	環境科学部棟 1階(123-2)		
担当教員TEL	095-891-2086		
担当教員オフィスアワー	火曜日 12:00-12:50 水曜日 12:00-12:50 木曜日 10:30-12:00		
授業の概要及び位置づけ	フランス語IIを履修済みの学生を対象にし、会話力をのばすために、文の組み立て方の規則を發展させ、状況に応じた適切な文を作り出せるようにします。特に習ったことを復習し、フランスでの日常生活に役立つよう、様々な状況に適応したアクト ドゥ パロールができるようにします。		
授業到達目標	<p>(1) 映画に行ったり、余暇をどう過ごしたかという日々の行動等を複合過去形や半過去形で話せるようにします。</p> <p>(2) TGVの乗り方、買い物の支払い方法、将来の計画会話を未来形や接続法を使いながらマスターします。</p> <p>(3) 自分の考えを述べる、あるいは相手への助言をするなど、フランス人と接する上で重要な自己主張ができるようになることを目標とします。</p>		
授業方法（学習指導法）	<p>(1) 基本的には教科書に沿って進みます。</p> <p>(2) 文法を復習しながら、ヒアリングも重視し、段階ごとに学習成果をチェックする練習問題を行います。</p> <p>(3) フランス語を使えるようにするために、多くのフランス語に接し、異なる相手と共同作業することで、積極的に授業に参加できるような方法をとります。</p> <p>(4) フランス語を話す外国人とSKYPEを通してあるいは直接会話しします。</p>		
	とくに耳から聞いて話すことを目標にし、CDを使いスピーチ・アクト、ダイアログ、リスニング課題へと進みます。また最初に、DVDを使って各レッスンの前提となる、フランスの社会についての知識を学び、次に必要な語彙や文法を勉強し、クラスメートと発展的な会話を行います。CALL教室を使います。		
	第16回「定期試験 8月2日」試験は統一試験になります。		
	回	内容	
	1	「お茶の時間に叔母さんのカフェを二人は手伝います」(1) (1) 天気を言う、「～があります」	

授業内容		(2) 「～できる」 (3) 文法練習問題
	2	「お茶の時間に叔母さんのカフェを二人は手伝います」 (2) (1) 「私を、君を、彼を」等、直接目的語人称代名詞 (2) 会話練習 (3) 天候小テスト
	3	<お茶の時間に叔母さんのカフェを二人は手伝います> (3) (1) 「何時ですか」等、目的語人称代名詞 (2) 会話練習 (3) 天候小テスト
	4	「ユーゴーはミステリアスなお客さんに部屋を案内します」 (1) (1) 「～に乗ります」「～を着ます」「～を買います」 <prendre> (2) 「私に、君に、彼に」等、間接目的語人称代名詞 (3) 「気に入りましたか？」
	5	「ユーゴーはミステリアスなお客さんに部屋を案内します」 (2) (1) 「起きる」「自己紹介する」代名動詞 (2) カフェで注文する (3) 単語10個小テスト
	6	「ピエールはカフェで注文をとります」 (1) (1) 「今から～します」 (2) 近接未来問題練習 (3) 代名動詞小テスト
	7	<ピエールはカフェで注文をとります> (2) (1) 「たった今～したところです」 (2) 近接過去問題練習 (3) チャット
	8	「ピエールはカフェで注文をとります」 (3) (1) 「それ」 <en> (2) 中性代名詞問題練習 (3) 会話小テスト
	9	「二人はサイクリングへ行きます」 (1) (1) 「～より～です」比較級 (2) 感想の表現を学ぶ (3) 単語10個小テスト
	10	「二人はサイクリングへ行きます」 (2) (1) 「～の中で1番～です」最上級 (2) 聞き取り練習 (3) 比較級、最上級練習問題
	11	「二人はサイクリングへ行きます」 (3) (1) 「～番目です」 (2) 会話ペアレッスン (3) 文章を読む
	12	「二人は叔母さんからお礼にお小遣いをもらいます」 (1) (1) 過去分詞を作る (2) avoir の復習 (3) 「誰」「誰が」「誰を」
	13	「二人は叔母さんからお礼にお小遣いをもらいます」 (2) (1) 「～しました」avoir の複合過去 (2) avoir の複合過去練習問題 (3) 「何」「何が」「何を」
	14	「海に行ったことのないユーゴーのために計画をたてます」 (1) (1) 「～しました」être の複合過去 (2) être の複合過去練習問題 (3) 「もし～なら～しよう」
	15	「海に行ったことのないユーゴーのために計画をたてます」 (2) (1) 「それ」 <y> (2) 数「70～10000」 (3) 会話ペアレッスン

	16 定期試験
キーワード	フランス語III
教科書・教材・参考書	Pierre et Hugo (白水社) 辞書(仏和辞典あるいは電子辞書)は必ず必要です。 生協には「デイリーコンサイス仏和和仏辞典」が売っています。なお、電子辞書の「フランス旅行会話」は全く役にたちません。きちんとしたフランス語辞書を入れて下さい。
成績評価の方法・基準等	定期試験50%、小テスト15%や課題15%、授業への積極的参加10%、fr@ncego(自己学習)10%を総合的に評価する。
受講要件(履修条件)	
備考(URL)	
学生へのメッセージ	意見や疑問に思ったことは、授業中でも授業が終わった後でも、積極的に質問して下さい。語学はコミュニケーションのために勉強します。質問も大切なコミュニケーションです。



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 フランス語**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	火2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590033002	科目番号	05900330
授業科目名	●フランス語Ⅲ(2M1～2M3_2D1・2D2_2K1～4)		
編集担当教員	大橋 絵理		
授業担当教員名(科目責任者)	大橋 絵理		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	大橋 絵理		
科目分類	B科目 外国語 初習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養C棟]C-36(call2)		
対象学生（クラス等）	2M1～3, 2D1～2, 2K1～4		
担当教員Eメールアドレス	eohashi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	環境科学部棟1階(123-2)		
担当教員TEL	095-891-2086		
担当教員オフィスアワー	火曜日 12:00-12:50 水曜日 12:00-12:50 木曜日 10:30-12:00		
授業の概要及び位置づけ	フランス語IIを履修済みの学生を対象にし、会話力をのばすために、文の組み立て方の規則を發展させ、状況に応じた適切な文を作り出せるようにします。特に習ったことを復習し、フランスでの日常生活に役立つよう、様々な状況に適応したアクト ドゥ パロールができるようにします。		
授業到達目標	<p>(1) 映画に行ったり、余暇をどう過ごしたかという日々の行動等を複合過去形や半過去形で話せるようにします。</p> <p>(2) TGVの乗り方、買い物の支払い方法、将来の計画会話を未来形や接続法を使いながらマスターします。</p> <p>(3) 自分の考えを述べる、あるいは相手への助言をするなど、フランス人と接する上で重要な自己主張ができるようになることを目標とします。</p>		
授業方法（学習指導法）	<p>(1) 基本的には教科書に沿って進みます。</p> <p>(2) 文法を復習しながら、ヒアリングも重視し、段階ごとに学習成果をチェックする練習問題を行います。</p> <p>(3) フランス語を使えるようにするために、多くのフランス語に接し、異なる相手と共同作業することで、積極的に授業に参加できるような方法をとります。</p>		
	とくに耳から聞いて話すことを目標にし、CDを使いスピーチ・アクト、ダイアログ、リスニング課題へと進みます。また最初に、DVDを使って各レッスンの前提となる、フランスの社会についての知識を学び、次に必要な語彙や文法を勉強し、クラスメートと発展的な会話を行います。CALL教室を使います。 第16回「定期試験 7月30日」試験は統一試験になります。		
	回	内容	
	1	「お茶の時間に叔母さんのカフェを二人は手伝います」(1) (1) 天気を言う、「～があります」	

授業内容		(2) 「～できる」 (3) 文法練習問題
	2	「お茶の時間に叔母さんのカフェを二人は手伝います」 (2) (1) 「私を、君を、彼を」等、直接目的語人称代名詞 (2) 会話練習 (3) 天候小テスト
	3	<お茶の時間に叔母さんのカフェを二人は手伝います> (3) (1) 「何時ですか」等、目的語人称代名詞 (2) 会話練習 (3) 天候小テスト
	4	「ユーゴーはミステリアスなお客さんに部屋を案内します」 (1) (1) 「～に乗ります」「～を着ます」「～を買います」 <prendre> (2) 「私に、君に、彼に」等、間接目的語人称代名詞 (3) 「気に入りましたか？」
	5	「ユーゴーはミステリアスなお客さんに部屋を案内します」 (2) (1) 「起きる」「自己紹介する」代名動詞 (2) カフェで注文する (3) 単語10個小テスト
	6	「ピエールはカフェで注文をとります」 (1) (1) 「今から～します」 (2) 近接未来問題練習 (3) 代名動詞小テスト
	7	<ピエールはカフェで注文をとります> (2) (1) 「たった今～したところです」 (2) 近接過去問題練習 (3) チャット
	8	「ピエールはカフェで注文をとります」 (3) (1) 「それ」 <en> (2) 中性代名詞問題練習 (3) 会話小テスト
	9	「二人はサイクリングへ行きます」 (1) (1) 「～より～です」比較級 (2) 感想の表現を学ぶ (3) 単語10個小テスト
	10	「二人はサイクリングへ行きます」 (2) (1) 「～の中で1番～です」最上級 (2) 聞き取り練習 (3) 比較級、最上級練習問題
	11	「二人はサイクリングへ行きます」 (3) (1) 「～番目です」 (2) 会話ペアレッスン (3) 文章を読む
	12	「二人は叔母さんからお礼にお小遣いをもらいます」 (1) (1) 過去分詞を作る (2) avoir の復習 (3) 「誰」「誰が」「誰を」
	13	「二人は叔母さんからお礼にお小遣いをもらいます」 (2) (1) 「～しました」avoir の複合過去 (2) avoir の複合過去練習問題 (3) 「何」「何が」「何を」
	14	「海に行ったことのないユーゴーのために計画をたてます」 (1) (1) 「～しました」être の複合過去 (2) être の複合過去練習問題 (3) 「もし～なら～しよう」
	15	「海に行ったことのないユーゴーのために計画をたてます」 (2) (1) 「それ」 <y> (2) 数「70～10000」 (3) 会話ペアレッスン

	16 定期試験
キーワード	フランス語III
教科書・教材・参考書	Pierre et Hugo (白水社) 辞書(仏和辞典あるいは電子辞書)は必ず必要です。 生協には「デイリーコンサイス仏和和仏辞典」が売っています。なお、電子辞書の「フランス旅行会話」は全く役にたちません。きちんとしたフランス語辞書を入れて下さい。
成績評価の方法・基準等	定期試験50%、小テスト15%や課題15%、授業への積極的参加10%、fr@ncego(自己学習)10%を総合的に評価する。
受講要件(履修条件)	
備考(URL)	
学生へのメッセージ	シラバスを参考に、授業の内容を把握して予習をし、次の回に予定されている小テストのための復習をしっかりとすること。自己学習のfr@nce.goも有効に活用しましょう。言葉の学習のコツは、短時間でもなるべく頻繁にその言語に触れることです。 C'est en forgeant qu'on devient forgeron. 「鉄を鍛えていればこそ鍛冶屋になれる=習うより慣れる」(フランスのことわざ)



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 フランス語**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	木 1
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590033003	科目番号	05900330
授業科目名	●フランス語Ⅲ(2L1～2L3_2P1・2P2_2F1～2F3)		
編集担当教員	橋本 千鶴子		
授業担当教員名(科目責任者)	橋本 千鶴子		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	橋本 千鶴子		
科目分類	B科目 外国語 初習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養C棟]C-45(call3)		
対象学生（クラス等）	2L1～3, 2P1～2, 2F1～3		
担当教員Eメールアドレス	souslepont03@gmail.com		
担当教員研究室			
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	質問はメールで受け付けます。souslepont03@gmail.com		
授業の概要及び位置づけ	フランス語IIを履修済みの学生を対象にし、会話力をのばすために、文の組み立て方の規則を 発展させ、状況に応じた適切な文を作り出せるようにします。特に習ったことを復習し、フ ランスでの日常生活に役立つよう、様々な状況に適応したアクト ドゥ パロールができるよ うにします。		
授業到達目標	<p>(1) 映画に行ったり、余暇をどう過ごしたかという日々の行動等を複合過去形や半過去形で 話せるようにします。</p> <p>(2) TGVの乗り方、買い物の支払い方法、将来の計画会話を未来形や接続法を使いながらマ スターします。</p> <p>(3) 自分の考えを述べる、あるいは相手への助言をするなど、フランス人と接する上で重要 な自己主張ができるようになることを目標とします。</p>		
授業方法（学習指導法）	<p>(1) 基本的には教科書に沿って進みます。</p> <p>(2) 文法を復習しながら、ヒアリングも重視し、段階ごとに学習成果をチェックする練習問 題を行います。</p> <p>(3) フランス語を使えるようにするために、多くのフランス語に接し、異なる相手と共同作 業することで、積極的に授業に参加できるような方法をとります。</p> <p>(4) フランス語を話す外国人とSKYPEを通してあるいは直接会話します。</p>		
	とくに耳から聞いて話すことを目標にし、CDを使いスピーチ・アクト、ダイアログ、リス ニング課題へと進みます。また最初に、DVDを使って各レッスンの 前提となる、フランスの社 会についての知識を学び、次に必要な語彙や文法を勉強し、クラスメートと発展的な会話を 行います。CALL教室を使います。 第16回「定期試験 8月2日」試験は統一試験になります。		
	回	内容	
	1	<p>「お茶の時間に叔母さんのカフェを二人は手伝います」 (1)</p> <p>(1) 天気を言う、「～があります」</p> <p>(2) 「～できる」</p>	

授業内容		(3) 文法練習問題
	2	「お茶の時間に叔母さんのカフェを二人は手伝います」(2) (1) 「私を、君を、彼を」等、直接目的語人称代名詞 (2) 会話練習 (3) 天候小テスト
	3	<お茶の時間に叔母さんのカフェを二人は手伝います>(3) (1) 「何時ですか」等、目的語人称代名詞 (2) 会話練習 (3) 天候小テスト
	4	「ユーゴーはミステリアスなお客さんに部屋を案内します」(1) (1) 「～に乗ります」「～を着ます」「～を買います」 <prendre> (2) 「私に、君に、彼に」等、間接目的語人称代名詞 (3) 「気に入りましたか？」
	5	「ユーゴーはミステリアスなお客さんに部屋を案内します」(2) (1) 「起きる」「自己紹介する」代名動詞 (2) カフェで注文する (3) 単語10個小テスト
	6	「ピエールはカフェで注文をとります」(1) (1) 「今から～します」 (2) 近接未来問題練習 (3) 代名動詞小テスト
	7	<ピエールはカフェで注文をとります>(2) (1) 「たった今～したところです」 (2) 近接過去問題練習 (3) チャット
	8	「ピエールはカフェで注文をとります」(3) (1) 「それ」 <en> (2) 中性代名詞問題練習 (3) 会話小テスト
	9	「二人はサイクリングへ行きます」(1) (1) 「～より～です」比較級 (2) 感想の表現を学ぶ (3) 単語10個小テスト
	10	「二人はサイクリングへ行きます」(2) (1) 「～の中で1番～です」最上級 (2) 聞き取り練習 (3) 比較級、最上級練習問題
	11	「二人はサイクリングへ行きます」(3) (1) 「～番目です」 (2) 会話ペアレッスン (3) 文章を読む
	12	「二人は叔母さんからお礼にお小遣いをもらいます」(1) (1) 過去分詞を作る (2) avoir の復習 (3) 「誰」「誰が」「誰を」
	13	「二人は叔母さんからお礼にお小遣いをもらいます」(2) (1) 「～しました」avoir の複合過去 (2) avoir の複合過去練習問題 (3) 「何」「何が」「何を」
	14	「海に行ったことのないユーゴーのために計画をたてます」(1) (1) 「～しました」être の複合過去 (2) être の複合過去練習問題 (3) 「もし～なら～しよう」
	15	「海に行ったことのないユーゴーのために計画をたてます」(2) (1) 「それ」 <y> (2) 数「70～10000」 (3) 会話ペアレッスン

	16 定期試験
キーワード	フランス語III
教科書・教材・参考書	Pierre et Hugo (白水社) 辞書(仏和辞典あるいは電子辞書)は必ず必要です。 生協には「デイリーコンサイス仏和和仏辞典」が売っています。なお、電子辞書の「フランス旅行会話」は全く役にたちません。きちんとしたフランス語辞書を入れて下さい。
成績評価の方法・基準等	定期試験50%、小テスト15%や課題15%、授業への積極的参加10%、fr@ncego(自己学習)10%を総合的に評価する。
受講要件(履修条件)	
備考(URL)	
学生へのメッセージ	シラバスを参考に、授業の内容を把握して予習をし、次の回に予定されている小テストのための復習をしっかりとすること。自己学習のfr@nce.goも有効に活用しましょう。言葉の学習のコツは、短時間でもなるべく頻繁にその言語に触れることです。 C'est en forgeant qu'on devient forgeron. 「鉄を鍛えていればこそ鍛冶屋になれる=習うより慣れる」(フランスのことわざ)



タイトル「**2014年度シラバス (教養教育科目)**」、開講所属「**教養教育-教養教育 フランス語**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	木2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590033004	科目番号	05900330
授業科目名	●フランス語Ⅲ(2E1～2E8)		
編集担当教員	橋本 千鶴子		
授業担当教員名(科目責任者)	橋本 千鶴子		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	橋本 千鶴子		
科目分類	B科目 外国語 初習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養B棟]B-44		
対象学生 (クラス等)	2E1～8		
担当教員Eメールアドレス	souslepont03@gmail.com		
担当教員研究室			
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	質問はメールで受け付けます。souslepont03@gmail.com		
授業の概要及び位置づけ	フランス語IIを履修済みの学生を対象にし、会話力をのばすために、文の組み立て方の規則を 発展させ、状況に応じた適切な文を作り出せるようにします。特に習ったことを復習し、フ ランスでの日常生活に役立つよう、様々な状況に適応したアクト ドゥ パロールができるよ うにします。		
授業到達目標	<p>(1) 映画に行ったり、余暇をどう過ごしたかという日々の行動等を複合過去形や半過去形で 話せるようにします。</p> <p>(2) TGVの乗り方、買い物の支払い方法、将来の計画会話を未来形や接続法を使いながらマ スターします。</p> <p>(3) 自分の考えを述べる、あるいは相手への助言をするなど、フランス人と接する上で重要 な自己主張ができるようになることを目標とします。</p>		
授業方法 (学習指導法)	<p>(1) 基本的には教科書に沿って進みます。</p> <p>(2) 文法を復習しながら、ヒアリングも重視し、段階ごとに学習成果をチェックする練習問 題を行います。</p> <p>(3) フランス語を使えるようにするために、多くのフランス語に接し、異なる相手と共同作 業することで、積極的に授業に参加できるような方法をとります。</p> <p>(4) フランス語を話す外国人とSKYPEを通してあるいは直接会話します。</p>		
	とくに耳から聞いて話すことを目標にし、CDを使いスピーチ・アクト、ダイアログ、リス ニング課題へと進みます。また最初に、DVDを使って各レッスンの 前提となる、フランスの社 会についての知識を学び、次に必要な語彙や文法を勉強し、クラスメートと発展的な会話を 行います。CALL教室を使います。 第16回「定期試験 8月2日」試験は統一試験になります。		
	回	内容	
	1	「お茶の時間に叔母さんのカフェを二人は手伝います」 (1) (1) 天気を言う、「～があります」 (2) 「～できる」	

授業内容		(3) 文法練習問題
	2	「お茶の時間に叔母さんのカフェを二人は手伝います」(2) (1) 「私を、君を、彼を」等、直接目的語人称代名詞 (2) 会話練習 (3) 天候小テスト
	3	<お茶の時間に叔母さんのカフェを二人は手伝います>(3) (1) 「何時ですか」等、目的語人称代名詞 (2) 会話練習 (3) 天候小テスト
	4	「ユーゴーはミステリアスなお客さんに部屋を案内します」(1) (1) 「～に乗ります」「～を着ます」「～を買います」 <prendre> (2) 「私に、君に、彼に」等、間接目的語人称代名詞 (3) 「気に入りましたか？」
	5	「ユーゴーはミステリアスなお客さんに部屋を案内します」(2) (1) 「起きる」「自己紹介する」代名動詞 (2) カフェで注文する (3) 単語10個小テスト
	6	「ピエールはカフェで注文をとります」(1) (1) 「今から～します」 (2) 近接未来問題練習 (3) 代名動詞小テスト
	7	<ピエールはカフェで注文をとります>(2) (1) 「たった今～したところです」 (2) 近接過去問題練習 (3) チャット
	8	「ピエールはカフェで注文をとります」(3) (1) 「それ」 <en> (2) 中性代名詞問題練習 (3) 会話小テスト
	9	「二人はサイクリングへ行きます」(1) (1) 「～より～です」比較級 (2) 感想の表現を学ぶ (3) 単語10個小テスト
	10	「二人はサイクリングへ行きます」(2) (1) 「～の中で1番～です」最上級 (2) 聞き取り練習 (3) 比較級、最上級練習問題
	11	「二人はサイクリングへ行きます」(3) (1) 「～番目です」 (2) 会話ペアレッスン (3) 文章を読む
	12	「二人は叔母さんからお礼にお小遣いをもらいます」(1) (1) 過去分詞を作る (2) avoir の復習 (3) 「誰」「誰が」「誰を」
	13	「二人は叔母さんからお礼にお小遣いをもらいます」(2) (1) 「～しました」avoir の複合過去 (2) avoir の複合過去練習問題 (3) 「何」「何が」「何を」
	14	「海に行ったことのないユーゴーのために計画をたてます」(1) (1) 「～しました」être の複合過去 (2) être の複合過去練習問題 (3) 「もし～なら～しよう」
	15	「海に行ったことのないユーゴーのために計画をたてます」(2) (1) 「それ」 <y> (2) 数「70～10000」 (3) 会話ペアレッスン

	16 定期試験
キーワード	フランス語III
教科書・教材・参考書	Pierre et Hugo (白水社) 辞書(仏和辞典あるいは電子辞書)は必ず必要です。 生協には「デイリーコンサイス仏和和仏辞典」が売っています。なお、電子辞書の「フランス旅行会話」は全く役にたちません。きちんとしたフランス語辞書を入れて下さい。
成績評価の方法・基準等	定期試験50%、小テスト15%や課題15%、授業への積極的参加10%、fr@ncego(自己学習)10%を総合的に評価する。
受講要件(履修条件)	
備考(URL)	
学生へのメッセージ	意見や疑問に思ったことは、授業中でも授業が終わった後でも、積極的に質問して下さい。語学はコミュニケーションのために勉強します。質問も大切なコミュニケーションです。



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 フランス語**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	火1
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590035001	科目番号	05900350
授業科目名	●フランス語Ⅳ(2T1～2T10)		
編集担当教員	富田 高嗣		
授業担当教員名(科目責任者)	富田 高嗣		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	富田 高嗣		
科目分類	B科目 外国語 初習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養C棟]C-36(call2)		
対象学生（クラス等）	2T1～10		
担当教員Eメールアドレス	eohashi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	環境科学部棟1階(123-2)		
担当教員TEL	095-819-2086		
担当教員オフィスアワー	火曜日 13:00-17:00 水曜日 14:30-17:00 木曜日 10:30-12:00		
授業の概要及び位置づけ	会話力をのばすために、文の組み立て方の規則を發展させ、状況に応じた適切な文を作り出せるようにします。特に習ったことを復習し、フランスでの日常生活に役立つよう、様々な状況に適応したアクト ドゥ パロールができるようにします。		
授業到達目標	(1) 「～していた」という状態を表す過去形をマスターします。 (2) 未来形を使って将来の計画を話せるようにします。 (3) 「もし～できたら、～なのに」という条件法を使えるようにします。 (4) 自分の考えを述べる、あるいは相手への助言をするなど、フランス人と接する上で重要な自己主張ができるようになることを目標とし、最終的にはフランス語検定3級程度をめざします。		
授業方法（学習指導法）	(1) 基本的には教科書に沿って進みます。 (2) 文法を復習しながら、ヒアリングも重視し、段階ごとに学習成果をチェックする練習問題を行います。 (3) フランス語を使えるようにするために、多くのフランス語に接し、異なる相手と共同作業することで、積極的に授業に参加できるような方法をとります。		
	教科書にそっていきますが、とくに耳から聞いて話すことを目標にし、CDを使いスピーチ・アクト、ダイアログ、リスニング課題へと進みます。また最初に、DVDを使って各レッスンの前提となる、フランスの社会についての知識を学び、次に必要な語彙や文法を勉強し、クラスメートと発展的な会話を行います。 第16回「2月9日」定期試験 統一試験となります。		
	回	内容	
	1	二人は松林をハイキングして海にでます (1) (1) 「～していた」という状態を表現する半過去を学ぶ (2) 半過去の練習問題 (3) 半過去の会話練習	

授業内容	2	指示代名詞、練習問題 二人は松林をハイキングして海にでます (2) (1) 「～していた時は、すでに～だった」 (2) 「～年前から」の表現 (3) 半過去形小テスト
	3	二人は松林をハイキングして海にでます (3) (1) <monde> の表現を学ぶ。 (2) 大過去形の練習問題 (3) 文章を読む
	4	また、夏に来ることを誓います (1) (1) 未来形を学ぶ (2) 未来にしたいことを話す。 (3) 音楽やスポーツを学ぶ
	5	また、夏に来ることを誓います (2) (1) 「～時には、～は終わってるだろう」 (2) 前未来練習問題 (3) タロとモモの会話練習
	6	また、夏に来ることを誓います (3) (1) できること。できないことを言う (2) 慣用表現を学ぶ (3) 本文小テスト
	7	ヒッチハイクをしたら前と同じおじさんでした (1) (1) 「もし～なら、～なのに」の表現 (2) 「なんて～なんだろう」 (3) 条件法練習問題
	8	ヒッチハイクをしたら前と同じおじさんでした (2) (1) 「もし～だったら、～だったのに」の表現 (2) 「～したいんですが」の言い方を学ぶ (3) タロとモモの会話を聞きとって書いてみよう
	9	ヴァカンスの最終日、二人はある場所へ行きます (1) (1) 事実ではないかもしれないことを言う (2) 「残念だ」の表現を学ぶ (3) 接続法練習問題
	10	ヴァカンスの最終日、二人はある場所へ行きます (2) (1) 事実ではなかったかもしれないことを言う (2) 「～しなくてはいけない」の表現を学ぶ (3) 接続法小テスト
	11	ヴァカンスの最終日、二人はある場所へ行きます (3) (1) 文章を読む (2) 色々な表現を使ってチャットをしてみよう (3) 聞き取りの練習をする
	12	叔母さんにお礼のメールを送ります (1) (1) 関係代名詞 <qui> <que> <ou> を学ぶ (2) 関係代名詞練習問題 (3) 「～しながら」の表現を学ぶ
	13	叔母さんにお礼のメールを送ります (2) (1) 別れの挨拶の表現を学ぶ (2) 強調する文を作る (3) メールを書いてみよう
	14	Ipadを使ってグループでシナリオを作成し、ビデオにとってみよう (1)
	15	Ipadを使ってグループでシナリオを作成し、ビデオにとってみよう (2)
	16	定期試験
	キーワード	フランス語IV
教科書・教材・参考書	「ピエールとユーゴー」白水社 辞書 (仏和辞典あるいは電子辞書) は必ず必要です。 生協には「デイリーコンサイス仏和和仏辞典」が売っています。なお、電子辞書の「フランス	

	旅行会話」は全く役にたちません。きちんとしたフランス語辞書を入れて下さい。
成績評価の方法・基準等	定期試験50%、小テスト15%や課題15%、授業態度10%、Fr@ncego（自己学習）10%を総合的に判断する。
受講要件（履修条件）	
備考（URL）	
学生へのメッセージ	シラバスを参考に、授業の内容を把握して予習をし、次の回に予定されている小テストのための復習をしっかりとすること。自己学習のfr@nce.goも有効に活用しましょう。言葉の学習のコツは、短時間でもなるべく頻繁にその言語に触れることです。 C'est en forgeant qu'on devient forgeron. 「鉄を鍛えていればこそ鍛冶屋になれる＝習うより慣れろ」（フランスのことわざ）



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 フランス語**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	火2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590033002	科目番号	05900330
授業科目名	●フランス語Ⅲ(2M1～2M3_2D1・2D2_2K1～4)		
編集担当教員	大橋 絵理		
授業担当教員名(科目責任者)	大橋 絵理		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	大橋 絵理		
科目分類	B科目 外国語 初習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養C棟]C-36(call2)		
対象学生（クラス等）	2M1～3, 2D1～2, 2K1～4		
担当教員Eメールアドレス	eohashi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	環境科学部棟1階(123-2)		
担当教員TEL	095-891-2086		
担当教員オフィスアワー	火曜日 12:00-12:50 水曜日 12:00-12:50 木曜日 10:30-12:00		
授業の概要及び位置づけ	フランス語IIを履修済みの学生を対象にし、会話力をのばすために、文の組み立て方の規則を發展させ、状況に応じた適切な文を作り出せるようにします。特に習ったことを復習し、フランスでの日常生活に役立つよう、様々な状況に適応したアクト ドゥ パロールができるようにします。		
授業到達目標	<p>(1) 映画に行ったり、余暇をどう過ごしたかという日々の行動等を複合過去形や半過去形で話せるようにします。</p> <p>(2) TGVの乗り方、買い物の支払い方法、将来の計画会話を未来形や接続法を使いながらマスターします。</p> <p>(3) 自分の考えを述べる、あるいは相手への助言をするなど、フランス人と接する上で重要な自己主張ができるようになることを目標とします。</p>		
授業方法（学習指導法）	<p>(1) 基本的には教科書に沿って進みます。</p> <p>(2) 文法を復習しながら、ヒアリングも重視し、段階ごとに学習成果をチェックする練習問題を行います。</p> <p>(3) フランス語を使えるようにするために、多くのフランス語に接し、異なる相手と共同作業することで、積極的に授業に参加できるような方法をとります。</p>		
	とくに耳から聞いて話すことを目標にし、CDを使いスピーチ・アクト、ダイアログ、リスニング課題へと進みます。また最初に、DVDを使って各レッスンの前提となる、フランスの社会についての知識を学び、次に必要な語彙や文法を勉強し、クラスメートと発展的な会話を行います。CALL教室を使います。 第16回「定期試験 7月30日」試験は統一試験になります。		
	回	内容	
	1	「お茶の時間に叔母さんのカフェを二人は手伝います」(1) (1) 天気を言う、「～があります」	

授業内容		(2) 「～できる」 (3) 文法練習問題
	2	「お茶の時間に叔母さんのカフェを二人は手伝います」 (2) (1) 「私を、君を、彼を」等、直接目的語人称代名詞 (2) 会話練習 (3) 天候小テスト
	3	<お茶の時間に叔母さんのカフェを二人は手伝います> (3) (1) 「何時ですか」等、目的語人称代名詞 (2) 会話練習 (3) 天候小テスト
	4	「ユーゴーはミステリアスなお客さんに部屋を案内します」 (1) (1) 「～に乗ります」「～を着ます」「～を買います」 <prendre> (2) 「私に、君に、彼に」等、間接目的語人称代名詞 (3) 「気に入りましたか？」
	5	「ユーゴーはミステリアスなお客さんに部屋を案内します」 (2) (1) 「起きる」「自己紹介する」代名動詞 (2) カフェで注文する (3) 単語10個小テスト
	6	「ピエールはカフェで注文をとります」 (1) (1) 「今から～します」 (2) 近接未来問題練習 (3) 代名動詞小テスト
	7	<ピエールはカフェで注文をとります> (2) (1) 「たった今～したところです」 (2) 近接過去問題練習 (3) チャット
	8	「ピエールはカフェで注文をとります」 (3) (1) 「それ」 <en> (2) 中性代名詞問題練習 (3) 会話小テスト
	9	「二人はサイクリングへ行きます」 (1) (1) 「～より～です」比較級 (2) 感想の表現を学ぶ (3) 単語10個小テスト
	10	「二人はサイクリングへ行きます」 (2) (1) 「～の中で1番～です」最上級 (2) 聞き取り練習 (3) 比較級、最上級練習問題
	11	「二人はサイクリングへ行きます」 (3) (1) 「～番目です」 (2) 会話ペアレッスン (3) 文章を読む
	12	「二人は叔母さんからお礼にお小遣いをもらいます」 (1) (1) 過去分詞を作る (2) avoir の復習 (3) 「誰」「誰が」「誰を」
	13	「二人は叔母さんからお礼にお小遣いをもらいます」 (2) (1) 「～しました」avoir の複合過去 (2) avoir の複合過去練習問題 (3) 「何」「何が」「何を」
	14	「海に行ったことのないユーゴーのために計画をたてます」 (1) (1) 「～しました」être の複合過去 (2) être の複合過去練習問題 (3) 「もし～なら～しよう」
	15	「海に行ったことのないユーゴーのために計画をたてます」 (2) (1) 「それ」 <y> (2) 数「70～10000」 (3) 会話ペアレッスン

	16 定期試験
キーワード	フランス語III
教科書・教材・参考書	Pierre et Hugo (白水社) 辞書(仏和辞典あるいは電子辞書)は必ず必要です。 生協には「デイリーコンサイス仏和和仏辞典」が売っています。なお、電子辞書の「フランス旅行会話」は全く役にたちません。きちんとしたフランス語辞書を入れて下さい。
成績評価の方法・基準等	定期試験50%、小テスト15%や課題15%、授業への積極的参加10%、fr@ncego(自己学習)10%を総合的に評価する。
受講要件(履修条件)	
備考(URL)	
学生へのメッセージ	シラバスを参考に、授業の内容を把握して予習をし、次の回に予定されている小テストのための復習をしっかりすること。自己学習のfr@nce.goも有効に活用しましょう。言葉の学習のコツは、短時間でもなるべく頻繁にその言語に触れることです。 C'est en forgeant qu'on devient forgeron. 「鉄を鍛えていればこそ鍛冶屋になれる=習うより慣れる」(フランスのことわざ)



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 フランス語**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	木 1
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590035003	科目番号	05900350
授業科目名	●フランス語Ⅳ(2L1～2L3_2P1・2P2_2F1～2F3)		
編集担当教員	橋本 千鶴子		
授業担当教員名(科目責任者)	橋本 千鶴子		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	橋本 千鶴子		
科目分類	B科目 外国語 初習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養C棟]C-36(call2)		
対象学生（クラス等）	2L1～3, 2P1～2, 2F1～3		
担当教員Eメールアドレス	souslepont03@gmail.com		
担当教員研究室			
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	質問はメールで受け付けます。souslepont03@gmail.com		
授業の概要及び位置づけ	会話力をのばすために、文の組み立て方の規則を發展させ、状況に応じた適切な文を作り出せるようにします。特に習ったことを復習し、フランスでの日常生活 に役立つよう、様々な状況に適応したアクト ドゥ パロールができるようにします。		
授業到達目標	(1) 「～していた」という状態を表す過去形をマスターします。 (2) 未来形を使って将来の計画を話せるようにします。 (3) 「もし～できたら、～なのに」という条件法を使えるようにします。 (4) 自分の考えを述べる、あるいは相手への助言をするなど、フランス人と接する上で重要な自己主張ができるようになることを目標とし、最終的にはフランス語検定3級程度をめざします。		
授業方法（学習指導法）	(1) 基本的には教科書に沿って進みます。 (2) 文法を復習しながら、ヒアリングも重視し、段階ごとに学習成果をチェックする練習問題を行います。 (3) フランス語を使えるようにするために、多くのフランス語に接し、異なる相手と共同作業することで、積極的に授業に参加できるような方法をとります。		
	教科書にそっていきますが、とくに耳から聞いて話すことを目標にし、CDを使いスピーチ・アクト、ダイアログ、リスニング課題へと進みます。また最初に、DVDを使って各レッスンの前提となる、フランスの社会についての知識を学び、次に必要な語彙や文法を勉強し、クラスメートと発展的な会話を行います。 第16回「2月9日」定期試験 統一試験となります。		
	回	内容	
	1	二人は松林をハイキングして海にでます (1) (1) 「～していた」という状態を表現する半過去を学ぶ (2) 半過去の練習問題 (3) 半過去の会話練習	
		指示代名詞、練習問題	

授業内容	2	二人は松林をハイキングして海にでます (2) (1) 「～していた時は、すでに～だった」 (2) 「～年前から」の表現 (3) 半過去形小テスト
	3	二人は松林をハイキングして海にでます (3) (1) <monde> の表現を学ぶ。 (2) 大過去形の練習問題 (3) 文章を読む
	4	また、夏に来ることを誓います (1) (1) 未来形を学ぶ (2) 未来にしたいことを話す。 (3) 音楽やスポーツを学ぶ
	5	また、夏に来ることを誓います (2) (1) 「～時には、～は終わってるだろう」 (2) 前未来練習問題 (3) タロとモモの会話練習
	6	また、夏に来ることを誓います (3) (1) できること。できないことを言う (2) 慣用表現を学ぶ (3) 本文小テスト
	7	ヒッチハイクをしたら前と同じおじさんでした (1) (1) 「もし～なら、～なのに」の表現 (2) 「なんて～なんだろう」 (3) 条件法練習問題
	8	ヒッチハイクをしたら前と同じおじさんでした (2) (1) 「もし～だったら、～だったのに」の表現 (2) 「～したいんですが」の言い方を学ぶ (3) タロとモモの会話を聞きとって書いてみよう
	9	ヴァカンスの最終日、二人はある場所へ行きます (1) (1) 事実ではないかもしれないことを言う (2) 「残念だ」の表現を学ぶ (3) 接続法練習問題
	10	ヴァカンスの最終日、二人はある場所へ行きます (2) (1) 事実ではなかったかもしれないことを言う (2) 「～しなくてはいけない」の表現を学ぶ (3) 接続法小テスト
	11	ヴァカンスの最終日、二人はある場所へ行きます (3) (1) 文章を読む (2) 色々な表現を使ってチャットをしてみよう (3) 聞き取りの練習をする
	12	叔母さんにお礼のメールを送ります (1) (1) 関係代名詞 <qui> <que> <ou> を学ぶ (2) 関係代名詞練習問題 (3) 「～しながら」の表現を学ぶ
	13	叔母さんにお礼のメールを送ります (2) (1) 別れの挨拶の表現を学ぶ (2) 強調する文を作る (3) メールを書いてみよう
	14	Ipadを使ってグループでシナリオを作成し、ビデオにとってみよう (1)
	15	Ipadを使ってグループでシナリオを作成し、ビデオにとってみよう (2)
	16	定期試験
	キーワード	フランス語IV
教科書・教材・参考書	「ピエールとユーゴー」白水社 辞書（仏和辞典あるいは電子辞書）は必ず必要です。 生協には「デイリーコンサイス仏和和仏辞典」が売っています。なお、電子辞書の「フランス旅行会話」は全く役にたちません。きちんとしたフランス語辞書を入れて下さい。	

成績評価の方法・基準等	定期試験50%、小テスト15%や課題15%、授業態度10%、Fr@ncego（自己学習）10%を総合的に判断する。
受講要件（履修条件）	
備考（URL）	
学生へのメッセージ	<p>シラバスを参考に、授業の内容を把握して予習をし、次の回に予定されている小テストのための復習をしっかりとすること。自己学習のfr@nce.goも有効に活用しましょう。言葉の学習のコツは、短時間でもなるべく頻繁にその言語に触れることです。</p> <p>C'est en forgeant qu'on devient forgeron. 「鉄を鍛えていればこそ鍛冶屋になれる＝習うより慣れろ」（フランスのことわざ）</p>



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 フランス語**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	木2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590035004	科目番号	05900350
授業科目名	●フランス語Ⅳ(2E1～2E8)		
編集担当教員	橋本 千鶴子		
授業担当教員名(科目責任者)	橋本 千鶴子		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	橋本 千鶴子		
科目分類	B科目 外国語 初習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養C棟]C-36(call2)		
対象学生（クラス等）	2E1～8		
担当教員Eメールアドレス	souslepont03@gmail.com		
担当教員研究室			
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	質問はメールで受け付けます。souslepont03@gmail.com		
授業の概要及び位置づけ	会話力をのばすために、文の組み立て方の規則を發展させ、状況に応じた適切な文を作り出せるようにします。特に習ったことを復習し、フランスでの日常生活に役立つよう、様々な状況に適応したアクト ドゥ パロールができるようにします。		
授業到達目標	(1) 「～していた」という状態を表す過去形をマスターします。 (2) 未来形を使って将来の計画を話せるようにします。 (3) 「もし～できたら、～なのに」という条件法を使えるようにします。 (4) 自分の考えを述べる、あるいは相手への助言をするなど、フランス人と接する上で重要な自己主張ができるようになることを目標とし、最終的にはフランス語検定3級程度をめざします。		
授業方法（学習指導法）	(1) 基本的には教科書に沿って進みます。 (2) 文法を復習しながら、ヒアリングも重視し、段階ごとに学習成果をチェックする練習問題を行います。 (3) フランス語を使えるようにするために、多くのフランス語に接し、異なる相手と共同作業することで、積極的に授業に参加できるような方法をとります。		
	教科書にそっていきますが、とくに耳から聞いて話すことを目標にし、CDを使いスピーチ・アクト、ダイアログ、リスニング課題へと進みます。また最初に、DVDを使って各レッスンの前提となる、フランスの社会についての知識を学び、次に必要な語彙や文法を勉強し、クラスメートと発展的な会話を行います。 第16回「2月9日」定期試験 統一試験となります。		
	回	内容	
	1	二人は松林をハイキングして海にでます (1) (1) 「～していた」という状態を表現する半過去を学ぶ (2) 半過去の練習問題 (3) 半過去の会話練習	
		指示代名詞、練習問題	

授業内容	2	二人は松林をハイキングして海にでます (2) (1) 「～していた時は、すでに～だった」 (2) 「～年前から」の表現 (3) 半過去形小テスト
	3	二人は松林をハイキングして海にでます (3) (1) <monde> の表現を学ぶ。 (2) 大過去形の練習問題 (3) 文章を読む
	4	また、夏に来ることを誓います (1) (1) 未来形を学ぶ (2) 未来にしたいことを話す。 (3) 音楽やスポーツを学ぶ
	5	また、夏に来ることを誓います (2) (1) 「～時には、～は終わってるだろう」 (2) 前未来練習問題 (3) タロとモモの会話練習
	6	また、夏に来ることを誓います (3) (1) できること。できないことを言う (2) 慣用表現を学ぶ (3) 本文小テスト
	7	ヒッチハイクをしたら前と同じおじさんでした (1) (1) 「もし～なら、～なのに」の表現 (2) 「なんて～なんだろう」 (3) 条件法練習問題
	8	ヒッチハイクをしたら前と同じおじさんでした (2) (1) 「もし～だったら、～だったのに」の表現 (2) 「～したいんですが」の言い方を学ぶ (3) タロとモモの会話を聞きとって書いてみよう
	9	ヴァカンスの最終日、二人はある場所へ行きます (1) (1) 事実ではないかもしれないことを言う (2) 「残念だ」の表現を学ぶ (3) 接続法練習問題
	10	ヴァカンスの最終日、二人はある場所へ行きます (2) (1) 事実ではなかったかもしれないことを言う (2) 「～しなくてはいけない」の表現を学ぶ (3) 接続法小テスト
	11	ヴァカンスの最終日、二人はある場所へ行きます (3) (1) 文章を読む (2) 色々な表現を使ってチャットをしてみよう (3) 聞き取りの練習をする
	12	叔母さんにお礼のメールを送ります (1) (1) 関係代名詞 <qui> <que> <ou> を学ぶ (2) 関係代名詞練習問題 (3) 「～しながら」の表現を学ぶ
	13	叔母さんにお礼のメールを送ります (2) (1) 別れの挨拶の表現を学ぶ (2) 強調する文を作る (3) メールを書いてみよう
	14	Ipadを使ってグループでシナリオを作成し、ビデオにとってみよう (1)
	15	Ipadを使ってグループでシナリオを作成し、ビデオにとってみよう (2)
	16	定期試験
	キーワード	フランス語IV
教科書・教材・参考書	「ピエールとユーゴー」白水社 辞書（仏和辞典あるいは電子辞書）は必ず必要です。 生協には「デイリーコンサイス仏和和仏辞典」が売っています。なお、電子辞書の「フランス旅行会話」は全く役にたちません。きちんとしたフランス語辞書を入れて下さい。	

成績評価の方法・基準等	定期試験50%、小テスト15%や課題15%、授業態度10%、Fr@ncego（自己学習）10%を総合的に判断する。
受講要件（履修条件）	
備考（URL）	
学生へのメッセージ	<p>シラバスを参考に、授業の内容を把握して予習をし、次の回に予定されている小テストのための復習をしっかりとすること。自己学習のfr@nce.goも有効に活用しましょう。言葉の学習のコツは、短時間でもなるべく頻繁にその言語に触れることです。</p> <p>C'est en forgeant qu'on devient forgeron. 「鉄を鍛えていればこそ鍛冶屋になれる＝習うより慣れろ」（フランスのことわざ）</p>

